

創立40周年記念

おらがいち

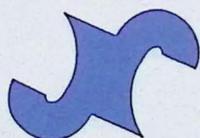
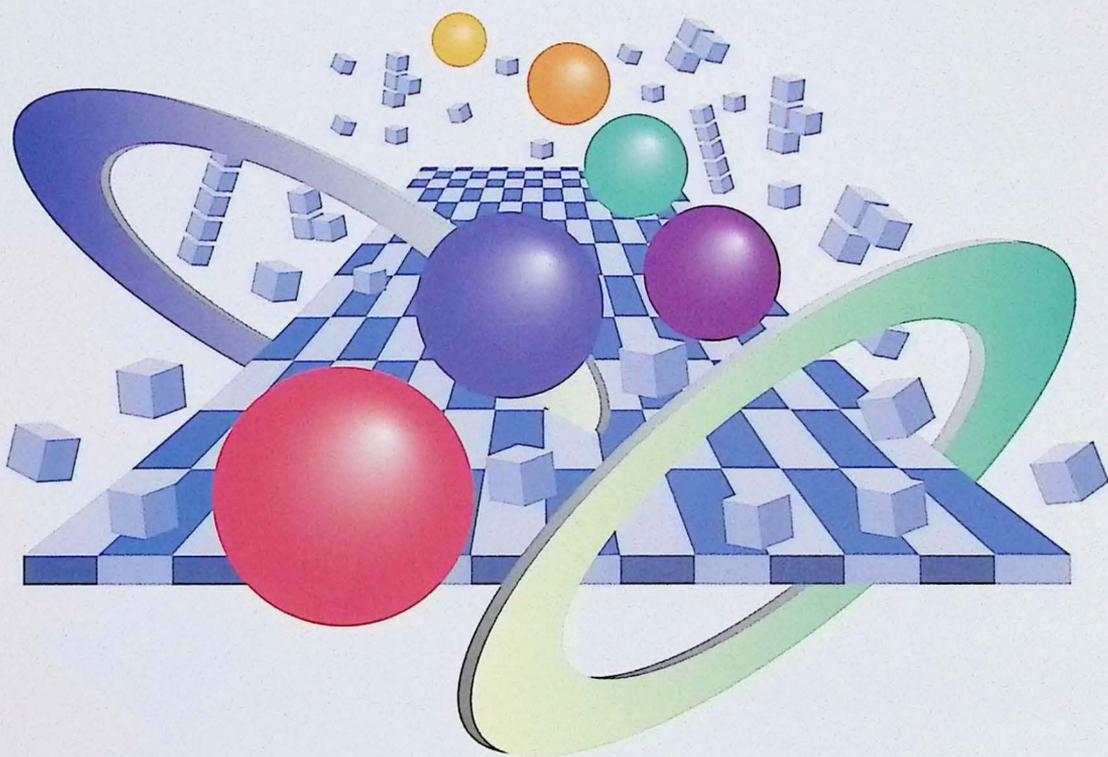
商工名鑑

1996

八日市商工会議所

創立40周年記念

八日市商工名鑑 1996



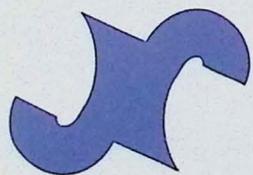
八日市商工会議所

商工業の発展めざして





八日市商工会議所会館



商工会議所のマークは CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY の三つの頭文字を組合わせたものです。CHAMBER は会議所、COMMERCE は商業、INDUSTRY は工業のことです。

意匠は JAPAN の頭文字 J も含ませ、なお、おおとりが翼を宙天の雲のごとく拡げて9万里の上空を飛ぶ様子も表現しています。

すなわち日本の商工会議所が世界に飛躍していることを示し全国各地の商工会議所はこのマークで統一されています。

目 次

◆発刊に際して	会頭 渡 辺 福之助	6
◆発刊によせて	八日市市長 中 村 功 一	7
◆八日市市の概要		8
●市勢のあらまし		9
●人口・世帯数の推移		10
●八日市市の産業		11
●商 業		12
●工 業		13
●交 通		15
◆21世紀に向けた —BIG PROJECT—		16
◆生まれ変わった駅前商環境		20
◆八日市のおまつり		24
◆八日市の絵地図		26
◆八日市の特産物		28
◆八日市商工会議所の概要		30
●役員、議員の紹介		31
●40年のあゆみ		40
●新会館完成		54
●会館建設事業協賛ご芳名録		55
●商工会議所の組織		60
●商工会議所とは		62
●中小企業相談所とは		64
●広がる友好の輪		66
●40周年記念事業組織図		67
●八日市商工会議所会館のご案内		68
◆協賛広告		69
◆会員名簿		1
◆事務局		263



発刊に際して

八日市商工会議所は、昭和31年3月に創立されてより、歴代の役職員・議員並びに会員各位の総力を挙げての活動により、40周年を迎えることになりました。ここに記念事業の一環として「八日市商工名鑑」を発刊できますことは誠に意義深く欣幸に存じます。

近年、本市を取り巻く経済環境は厳しさの中にも著しい変貌が感じられます。名神高速道路インターチェンジ周辺の商工業立地と布引丘陵地帯の工業団地や住宅団地の整備、近江鉄道八日市駅前区域における特定商業集積法による全国初のケースとしての近代化事業の完了などで精彩を加えております。その反面、周辺市町の経済力の増加等によって本市への少なからぬ影響を及ぼしていることも事実であり、平成5年指定の地方拠点都市地域として圏域の共存共栄こそ21世紀の課題となっております。

こうした状況の下、当商工会議所としては、地域商工業の発展と街の活性化に向け、1,300会員の総意と英知を結集して、魅力ある都市形成を目指すことが至上命題と考えております。

終わりに、この度の名鑑発行に当たり、格段のご協力を賜りました各位に心から感謝申し上げますと共に本誌が商工業界の便覧として役立つ資料としてご活用頂ければ望外の喜びであります。

関係各位の益々のご繁栄を祈念申し上げご挨拶といたします。

八日市商工会議所 会頭 渡辺 福之助



発刊によせて

八日市市は古くから湖東地方の商業の中心地として栄えてまいりましたが、近年、大型店の出店や都市間競争の影響を受けて商店街への客足の流れが大きく変わり、空き店舗の増加が目立つ等商業を取り巻く環境は大変厳しくなっております。また工業におきましても、バブル崩壊や急激な円高により国内産業の空洞化が進み、リストラや企業体質の転換を迫られるなど厳しい状況が続いております。その中において、八日市駅前地域において地元事業者を中心として商工会議所と八日市市とが連携をとりながら、土地区画整理事業と併せて商業近代化事業が進められました。特定商業集積法を活用して、湖東中部地域の生活文化拠点づくりを基本コンセプトとしたまちづくりが行われ、その拠点にふさわしい八日市駅前地域が誕生いたしましたことは、大変喜ばしいことでもあります。また、この事業に合わせ、商工会議所は、平成4年には会員各位の力を結集され商工会議所会館を新しく建設され、充実した事業活動を展開されています。

私は、やささとたくましさがあふれる元気都市八日市の実現を提唱しております。商工業に携わっていただく皆様方に、活力溢れる活動を続けていただけることが、元気都市八日市の実現につながるものと思っております。依然として厳しい情勢にある商工業にとって、その要となる商工会議所の使命は益々重要であり、会員の期待は誠に大きなものがあります。本市商工業の発展のため、更なる商工会議所の活動に、私も期待を寄せているところであります。

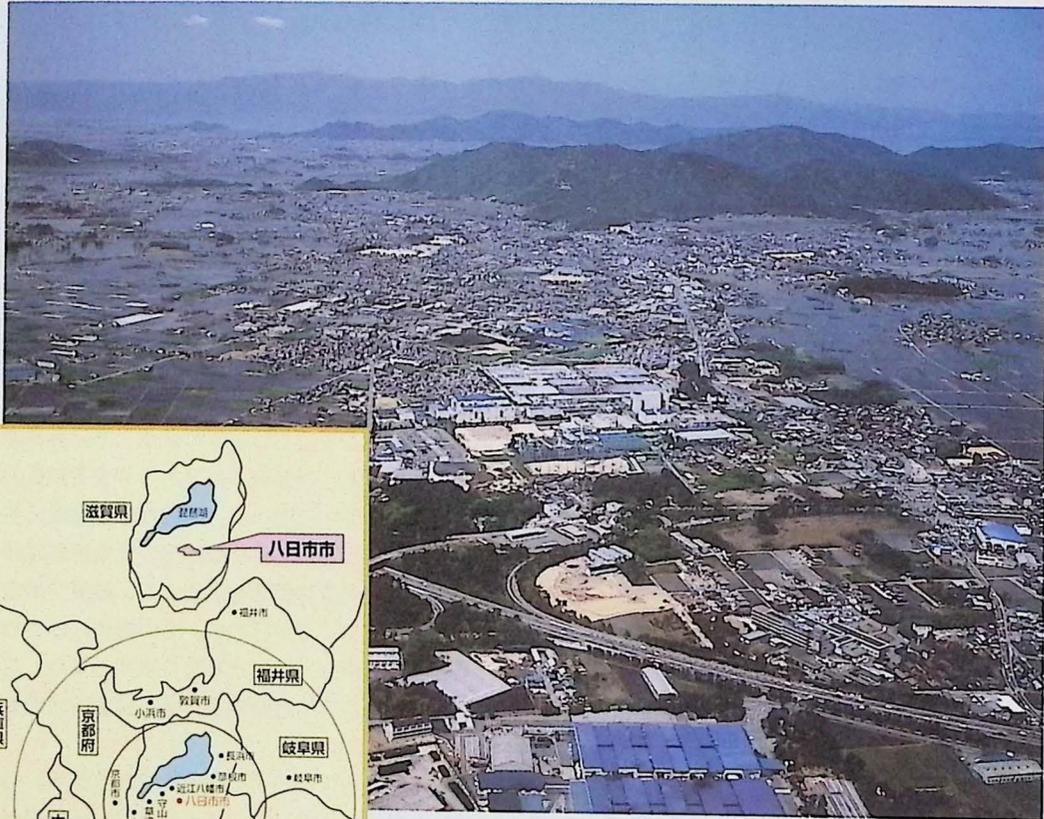
八日市商工会議所は、創立40年という節目の年を迎えられたこの時にあたり、記念誌を発刊されることは誠に意義深いものがあり、今後の商工会議所の発展と、この記念誌が本市商工業の振興に活用されることを祈念いたしまして、発刊に際してのお祝いの言葉といたします。

八日市市長 中村 功一

概要(歴史)

八日市市は、昭和29年8月15日に滋賀県下で5番目の市として誕生しました。

琵琶湖の東に広がる湖東平野のほぼ中央に位置し、市の東部から北部にかけては、遠く鈴鹿山系に源を発して琵琶湖に注ぐ愛知川が流れており、この愛知川の旧流路によって形成された田園地帯を、海拔200~300mのなだらかな丘陵が取り囲んでいます。



位置図

区分	経度(東経)	緯度(北緯)	町名
東端	136度16分52	35度04分59	池田町33番地
西端	136度07分41	35度05分33	下羽田町1325番地の1
南端	136度15分14	35度03分53	瓜生津町2011番地
北端	136度11分57	35度08分13	建部下野町811番地
市役所	136度12分38	35度06分35	緑町10番5号

資料：市建設部道路河川課

市勢のあらまし

人口は約43,000人、面積は52.60km²、その約45%を緑の水田が占めるのどかな田園都市です。

歴史は古く、約1万年前の石器時代にまでさかのぼることが出来ますが、この地蒲生野が、最も開発されたのは、渡来人が移住してきた6~7世紀の古墳時代といえます。古代王朝との結びつきも強く、市辺押磐皇子の御陵や、万葉集に詠われた額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台としても広く全国に知られています。

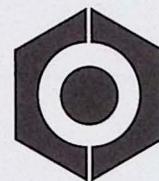
八日市の名は、聖徳太子が大坂四天王寺建立のための瓦を本市箕作山山麓で造らせ、各地から集まった人々に交易の道を教え、以来八の日に市が開かれたことによるものと伝えられています。

市内を東西に走る八風街道と、南北に通じる御代参街道が交わり、古くから交易の要衝として栄えたまちで、近江商人の原形といわれる保内商人の発祥の地でもあります。

明治30年には近江鉄道が、大正2年には湖南鉄道が開通し、また、大正4年には日本初の民間飛行場が出来るなど、湖東地域の中心的な地位を確立してきました。大正10年には陸軍飛行隊が設置され、終戦までは軍都としての賑わいもみせました。

昭和39年には名神高速道路八日市インターチェンジが開設され、京阪神・中京両大都市圏の活動圏に入り、これを契機に電気機器系の企業をはじめとする工場立地が進み、今日では内陸工業都市としての色彩を強めています。

江戸時代中期に、男子出生を祝ってあげられたのが始まりと伝えられる「八日市大風」と、恵まれた自然をまちづくりの基本に掲げ、「大風と緑のまち ようかいち」をキャッチフレーズに、まちづくりを進めています。



八日市市章

〔市章〕本市の市章は、昭和29年11月に制定されたもので、六角形は佐々木六角の領地であったことにより滋賀県をシンボライズし、その中へ八日市の八日を充填単純化したもので、白い輪は円満和合を表わしている。

- 〔市の花〕 ツツジ
- 〔市の木〕 アカマツ
- 〔市の鳥〕 ヒバリ
- 〔姉妹都市〕 アメリカミシガン州マーケット市
- 〔友好都市〕 中国湖南省常德市
ドイツハノーバー市

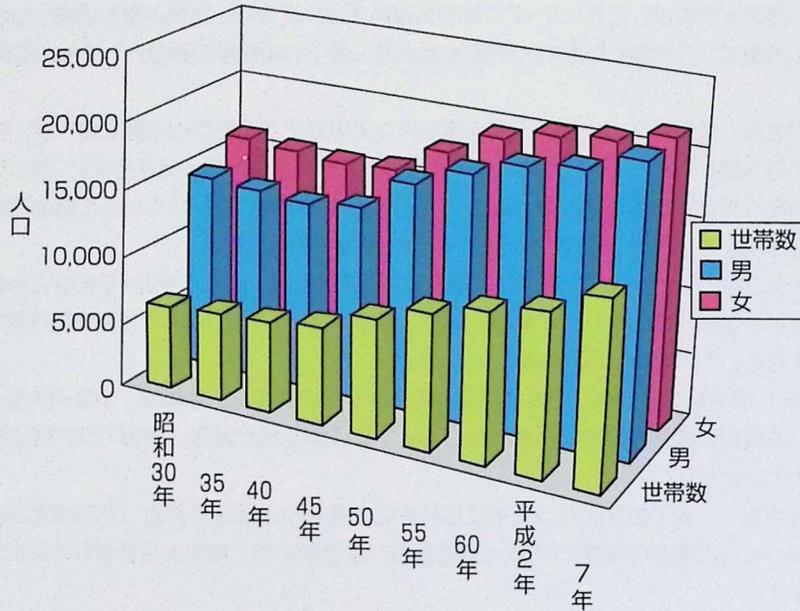
八日市市民憲章

びわ湖の東、鈴鹿連峰を望むところ、わたくしたちの郷土は聖徳太子ゆかりの市が開かれたという古い歴史と伝統の中で育ってきました。わたくしたち八日市市民は、ゆたかな自然とめくまれた環境を生きかし、湖東の中核都市としての責務を自覚し、誇り高い市民となるためにこの憲章を定めます。

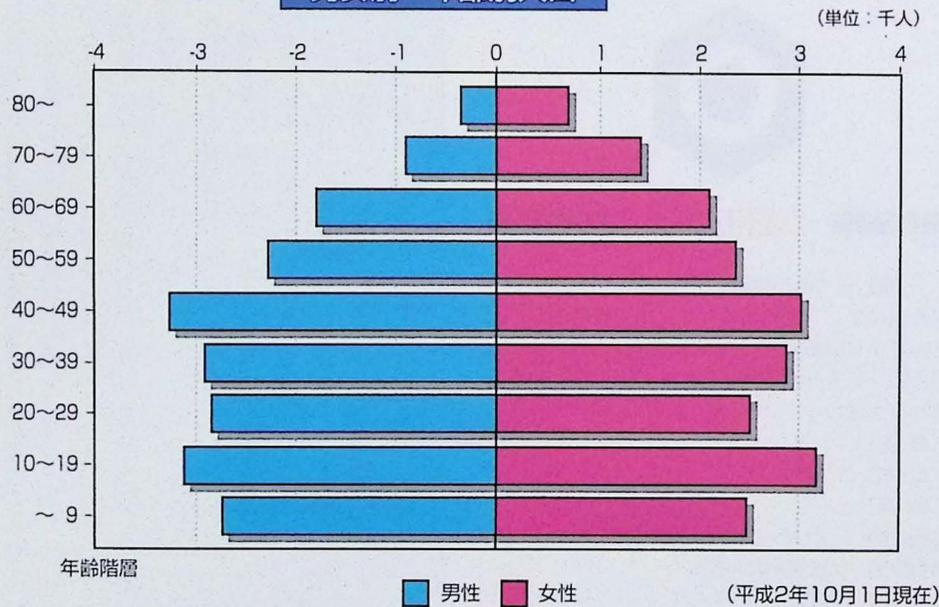
- わたしたち八日市市民は
- 一、郷土を愛し 緑を保ち 住みよいまちをつくりましょう
 - 一、教養を広め 文化を高め ゆかしいまちをつくりましょう
 - 一、きまりを守り 心を合わせ 明るいまちをつくりましょう
 - 一、仕事にはげみ 互いに助け ゆたかなまちをつくりましょう
 - 一、若い力を育て 理想を掲げ 伸びゆくまちをつくりましょう

人口・世帯数の推移

人口の推移

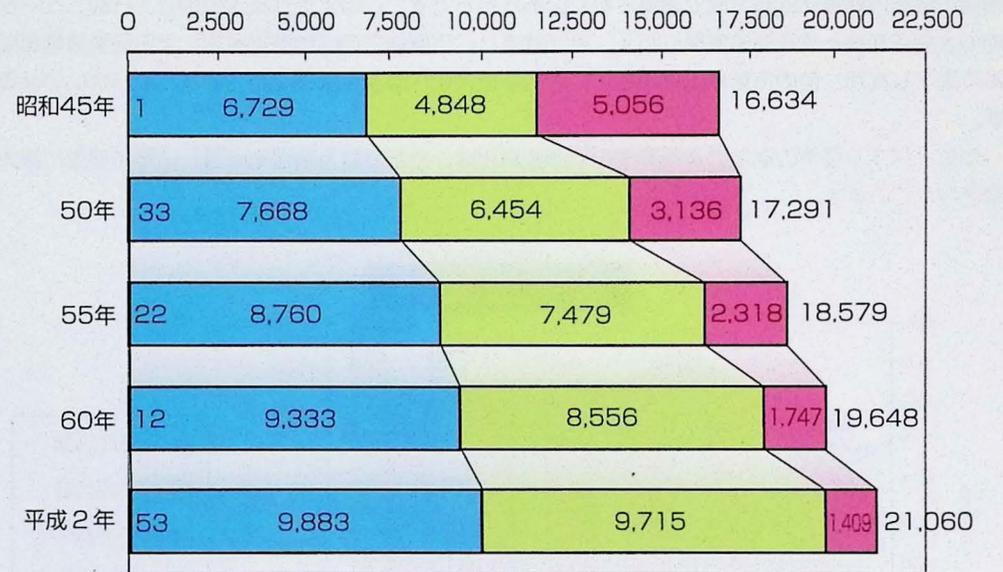


男女別・年齢別人口

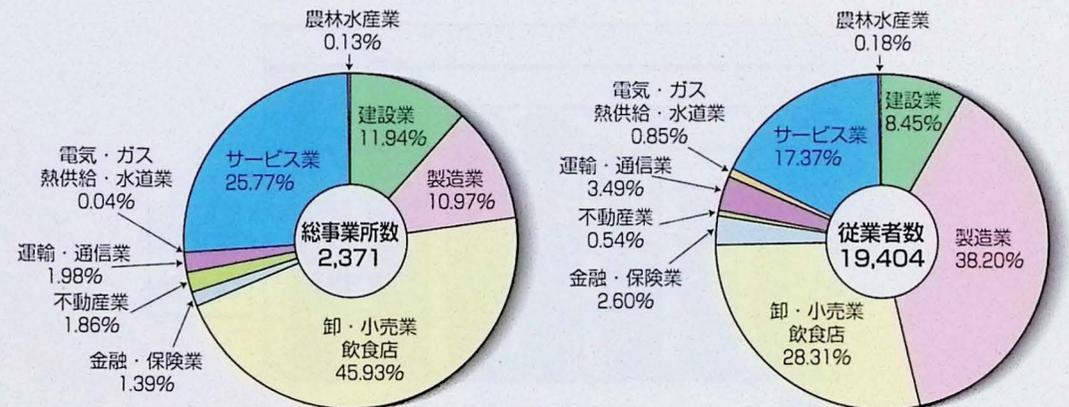


八日市市の産業

産業区分別 (15歳以上) 就業者数の推移



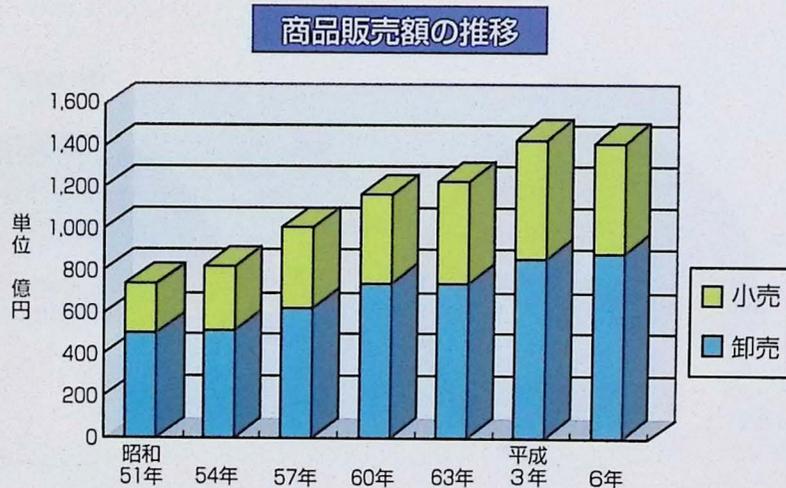
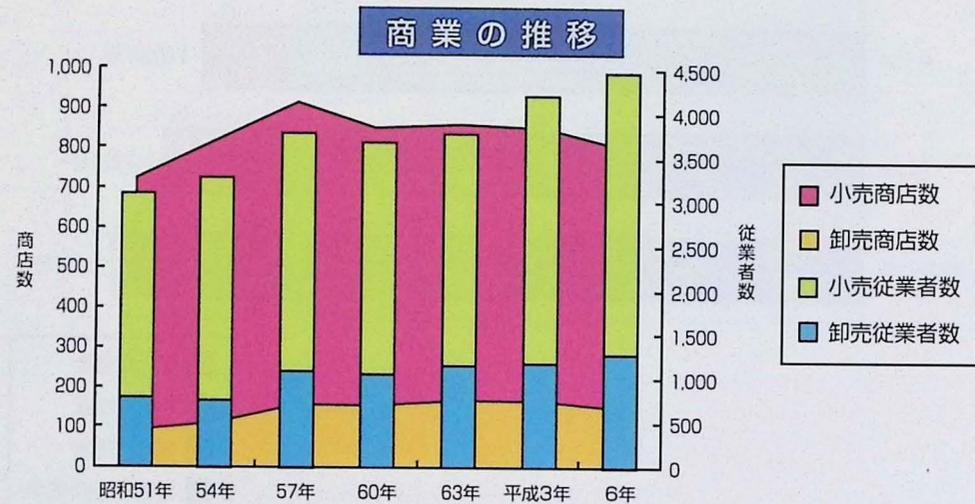
- 第1次産業
- 第2次産業
- 第3次産業
- 分類不能の産業



商業

本市の商業は、周辺部も含めた広域的商圈の購買力で支えられ、経済成長期の昭和63年までは、商店数、商品販売額とも右肩上がりの成長を遂げてきたが、それ以降は両者とも減少に転じ、なかでも中小零細店の廃業の顕著化は各方面で指摘されているところです。このような状況の中で、行政ニュータウン内の大型店を核とする商業集積に加え、近江鉄道八日市駅前での区画整理事業による商業集積再開発も漸く完了したが、他の市街地既存商店街における近代化への脱皮は遅々として進んでいないのが現状です。

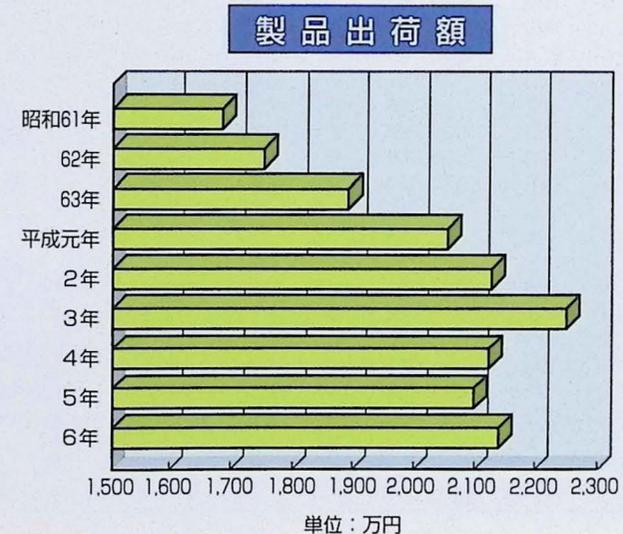
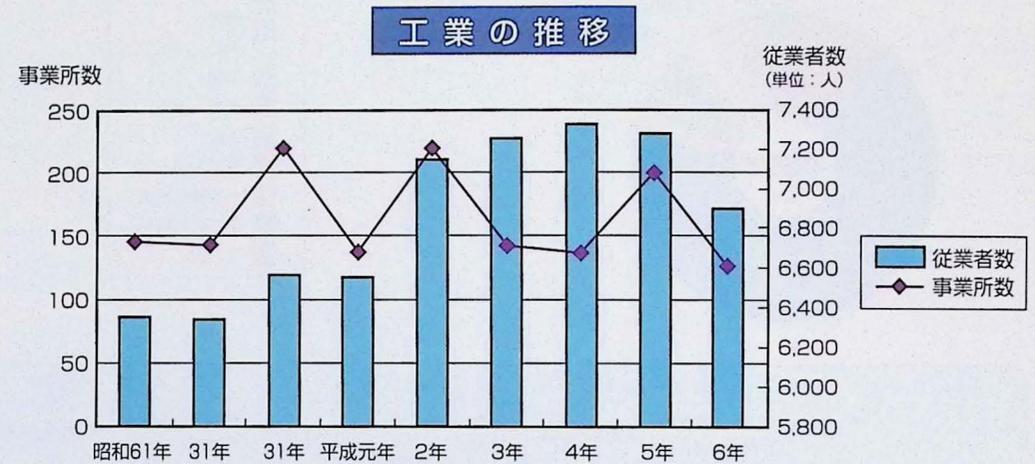
しかも、バブル経済の崩壊による景気の低迷長期化は、ただでさえ衰退化の著しい本市商業に甚大な打撃を与えています。



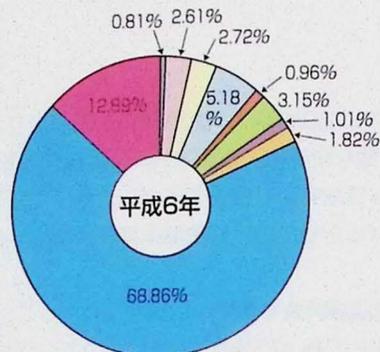
工業

八日市市の工業は、平成6年工業統計によると、事業所数126事業所、従業者数6,897人で、製造品出荷額は21,393,123万円となっています。このうち主要な企業は、昭和39年名神高速道路八日市インターチェンジが開通した前後に、豊富な労働力と優位な立地条件を求めて進出した電気機器を製造する企業を中心となっており、その後の企業立地は少なくなったものの、製造品出荷額は順調に伸びています。

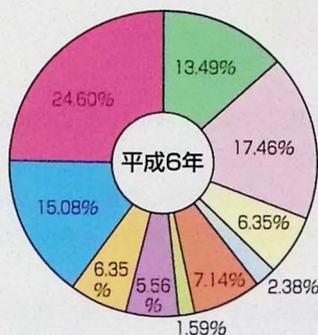
地場産業については、酒造業や繊維工業などがあり、物産振興会を組織し、振興に努力していますが、規模が小さく、消費者ニーズへの対応、技術力、販売力などにおいて流通の変革についていけない面や、品質の優秀さだけでは伸展し難いものがあり、販路の拡大などが課題となっています。



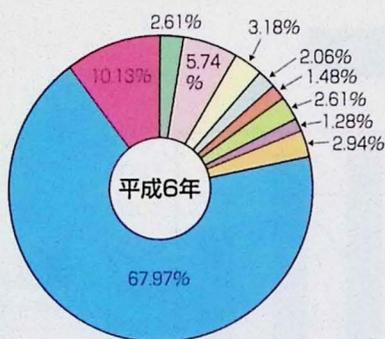
製造品出荷額



事業所数



従業者数



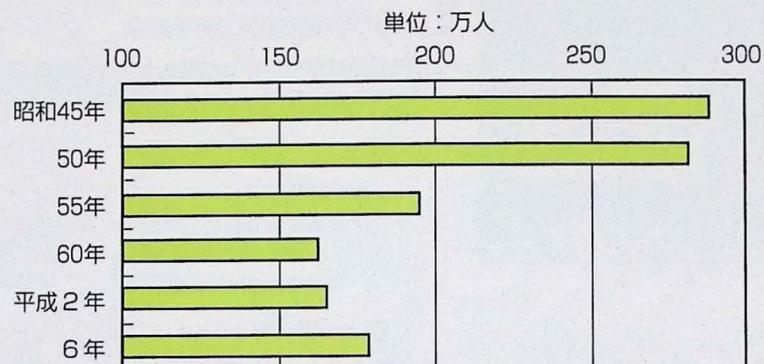
- 食料品
- 繊維
- 木材・パルプ
- 化学
- 窯業・土石
- 鉄鋼
- 金属製品
- 一般機械器具
- 電気機械器具
- その他

区分	平成4年			平成5年			平成6年		
	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額
総数	137	7,327	21,206,066	200	7,279	20,983,059	126	6,897	21,393,123
食料品	19	185	189,883	35	223	203,858	17	180	174,209
繊維工業	11	199	324,397	19	209	376,222	7	154	346,484
衣服・その他繊維製品	14	254	206,764	19	251	188,178	15	242	211,858
木材・木製品	5	48	34,735	12	61	38,260	6	56	37,734
家具・装備品	5	62	48,723	12	73	54,167	5	59	44,106
パルプ・紙・紙加工品	3	182	638,223	2	167	537,753	2	163	544,146
出版・印刷・同関連産業	4	25	25,845	5	26	26,932	3	21	21,130
化学工業	3	146	1,024,554	3	146	1,064,352	3	142	1,107,325
石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴム製品	1	X	X	1	X	X	1	X	2,200
なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	1	X	X	-	-	-
窯業・土石製品	9	148	234,069	10	129	181,355	9	102	205,301
鉄鋼	1	X	X	3	183	708,987	2	180	673,853
非鉄金属	2	13	6,300	2	12	7,480	2	11	5,580
金属製品	8	109	281,025	10	89	220,316	7	88	215,118
一般機械器具	9	233	612,234	14	236	447,749	8	203	388,542
電気機械器具	24	4,957	14,282,837	22	4,868	14,406,426	19	4,688	14,731,140
輸送用機械器具	1	X	X	4	14	8,456	2	8	4,027
精密機械器具	-	-	-	1	X	X	-	-	-
その他	18	591	2,555,478	25	577	2,508,439	18	589	2,680,370

資料：工業統計調査

交通

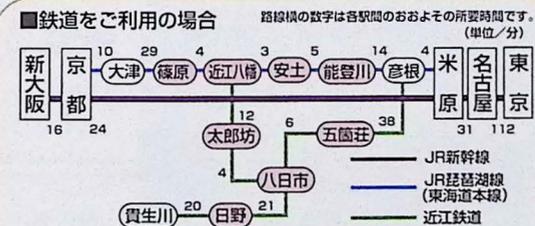
近江鉄道八日市駅乗降客数の推移



路線バス乗客数



交通アクセス



21世紀に向けた

—BIG PROJECT—

滋賀中部地方拠点都市地域基本計画



駅前整備地区

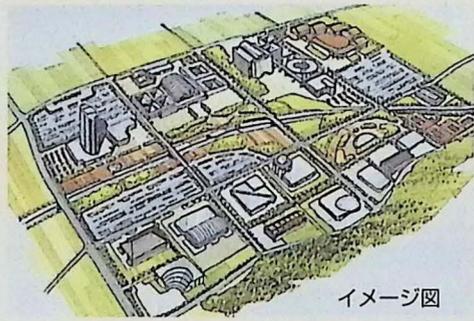
商業業務拠点地区

(八日市駅周辺地区) 約7.8ha

土地区画整備事業等で広域的な商業拠点および新しい地域文化創出拠点づくりを図ります。

◆整備内容

- 土地区画整理事業
- 特定商業集積整備事業（駅舎、駅前広場、ショッピングセンター、商店街他）



イメージ図

産業業務拠点地区(八日市市)

(地方拠点法第6条第3項に規定する業務拠点地区) 約30ha

研究開発機能等を中心とした業務集積を図り、魅力ある就労機会を提供するとともに本地域独自の経済圏・文化圏づくりに貢献します。

◆整備内容

- 産業業務施設整備（産業業務施設、中核施設他）

京阪神へネットワーク

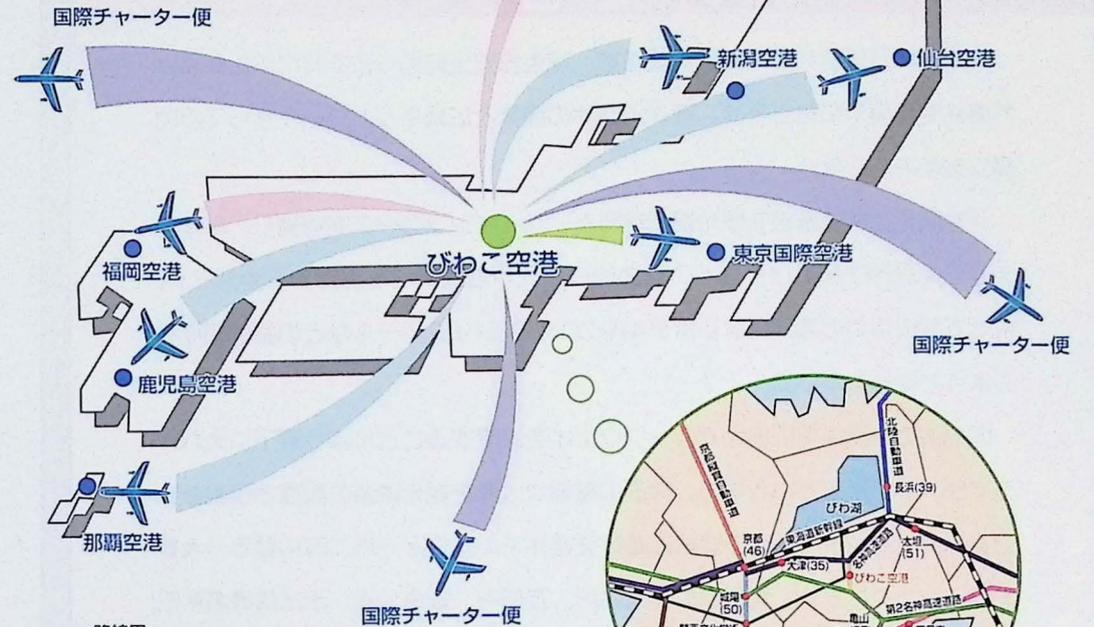
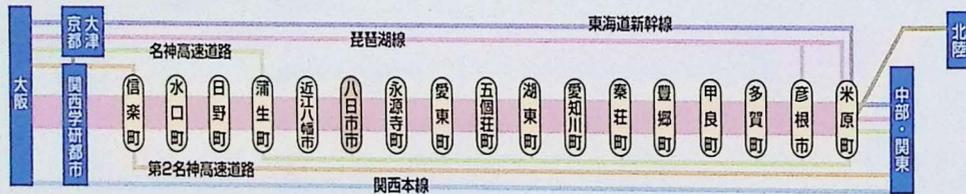
びわこ京阪奈鉄道

京阪神、中京、そして北陸の三つの経済圏をつなぐ琵琶湖の東部地域では、「びわこ空港」をはじめとして二十一世紀に向けたまちづくりのためのさまざまなビックプロジェクトが進行しつつあります。

その一つに、大都市圏との新しい交通ネットワークの形成をめざした「びわこ京阪奈鉄道」の建設があります。

この鉄道は、びわこ空港へのアクセスや大阪ベイエリア計

画にも関連しています。また京都府南部の関西学術研究都市や大阪府南部の関西国際空港への時間的距離を短縮し、連携を深め、「人・物・情報」の新たな交流軸の創出を目的としています。この計画が実現すれば、京阪神経済圏と湖国の距離がぐんと縮まり、飛躍的な利便性の向上と新たな交流による産業・文化・経済などの振興が期待されます。



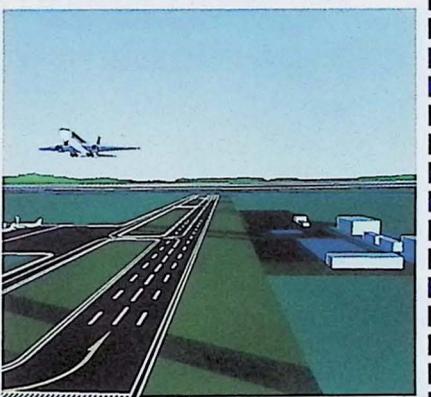
滋賀に空港を

びわこ空港

びわこ空港実現へ——。国の空港整備計画に予定事業として採択されているびわこ空港は、現在具体化に向け、取り組みが進められています。

二十一世紀には、「人・物・情報」の流れがますます活性化し、まさしく地球規模の交流の時代、本格的な空の時代を迎えます。それだけにびわこ空港が設置されれば、地方拠点都市地域整備の推進など、地域の発展、活性化に大きな効果をもたらすことになります。

市では今後、二十一世紀を展望し「空の時代」に対応した主要幹線道路など総合交通体系の整備を図っていくとともに、産業や観光などいろいろな面で、「臨空型の湖東中核都市づくり」をめざしていきます。



future

箕作山観光開発

提言

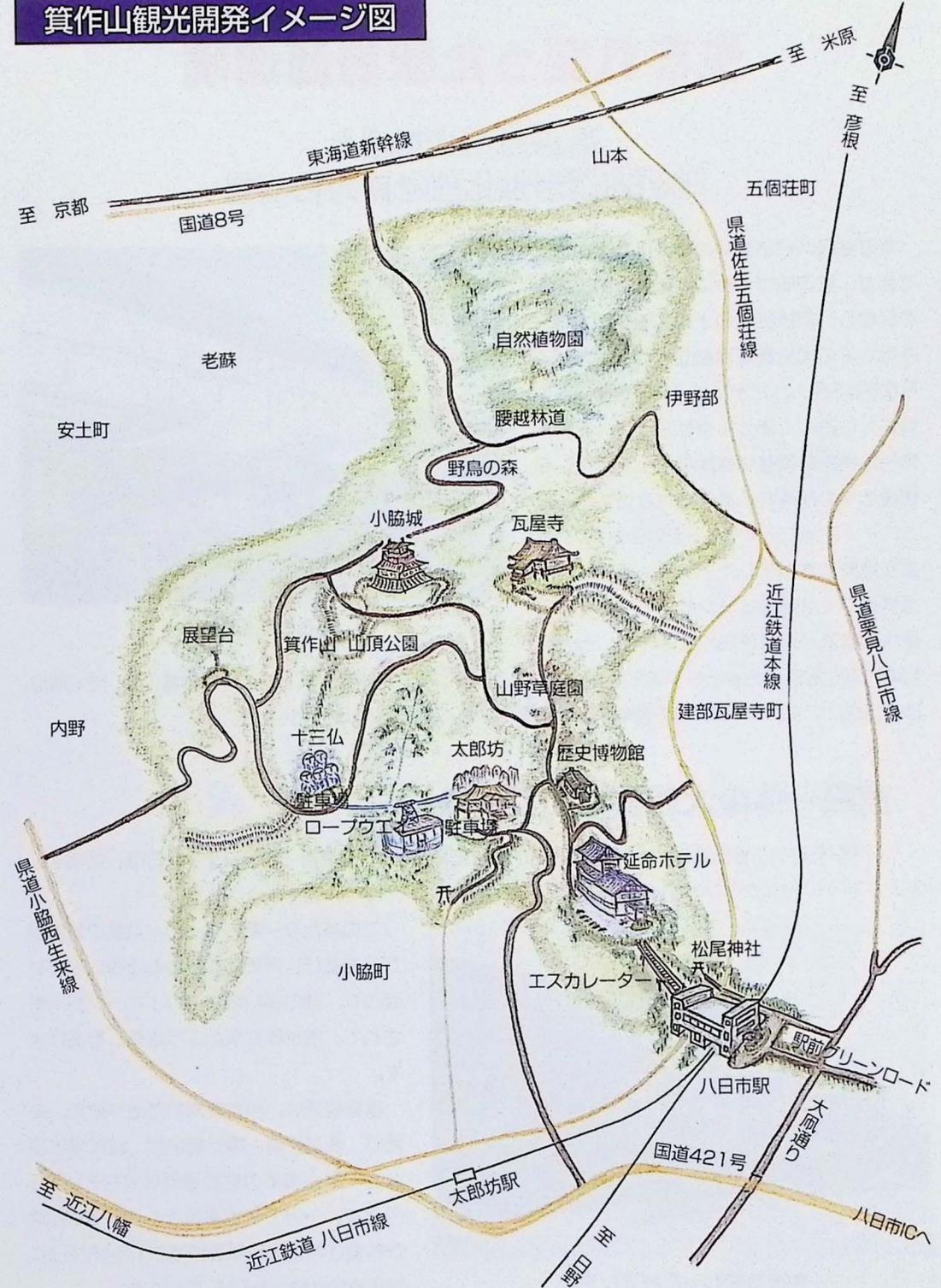
箕作山は八日市市と神崎郡五箇荘町、蒲生郡安土町の一市二町にまたがる自然豊かな環境下にあります。箕作山自体の開発と広域ネットワークとしての開発立案をみました。

林地開発と林道整備を兼ね観光道路と、ハイキングコースを整備し、単に観光施設を設置するだけでなく、歴史的ロマンや自然環境を活用する開発です。併せて民間活力の導入によるホテルやコンベンションホールなどの整備開発をしようとするものです。

太郎坊の自然は実に雄大でロープウェイを設置することにより眼下に大パノラマが一望できるというもの。林道の整備や太郎坊観光道路の設置と駅舎からコンベンションホールへの連絡道路等交通体系の確立と一市二町に亘る一大観光ゾーンづくりです。箕作山には太郎坊、瓦屋寺、延命公園、十三佛等名所旧跡が数多く存在し、加えて、小脇山城跡公園、延命寺の復元、八日市市庭の開祖である聖徳太子像の建立、ふるさとの歴史を辿る歴史博物館などによって広くPRが可能となることが期待されます。自然がそのまま残っているこのような素晴らしい環境のもと、四季に姿を変える自生の山野草類を利用した自然植物園、野鳥のさえずりが途絶えることのない自然の日本式庭園等環境重視のプランによって21世紀に向かって八日市新観光開発計画を提言するものであります。

(八日市市観光協会提供)

箕作山観光開発イメージ図



生まれ変わった駅前商環境

高度商業集積型と 地域商業活性化型を同時に実現

近江鉄道八日市駅前の整備は多年の宿願であり、街の顔づくりには商店街の近代化を目指し、駅前区域の土地区画整理事業と併行しての開発構想が樹立され、ようやく平成5年3月、八日市市は「特定商業集積整備法」に基づく街づくりビジョン「八日市市特定商業集積整備基本構想」を策定。商都復活への期待を込めて地域商業活性化型とハイ・アメニティマート型の2タイプの事業を同時に進めました。湖東中部地域の生活拠点づくりを基本コンセプトに顧客の利便性の増進・地域住民の生活向上・小売業務の円滑化を図る機能をもつ施設と一体的な商業施設づくりを推進しました。この事業についての関心は全国的に広まり、各地からの視察は工事期間中も完了後も今なお続いています。



現在の八日市駅

官民一体の大規模な街づくり

八日市駅前近代化協同組合（組合員26名）が整備を進めてきた商店街「ピアシティ八日市」が完成し、平成8年の11月にグランドオープン式を行いました。



生まれ変わったピアシティ

このあたり一帯、ヨーロッパ調の新店舗が立ち並び、近代的な魅力ある街に生まれ変わり、昔の古い商店街のイメージが一変されて、別世界に来たような感じを受けます。

事業規模は、組合会館の用地や建物、街路灯、放送設備、電光掲示板、駐車場施設など、組合事業の総投資額は約9千2百万円です。一方で個店事業として、33店舗が新築され、建築総面積は約1万4千平方、総投資額は約34億2千万円です。

明日のまちを考える商人塾開設事業

八日市のまちは聖徳太子ゆかりの地で、太子が開かせた「市」から発展したといわれます。室町期より近江商人の源流の一つである保内（得珍保）商人を輩出し、その後も商都として発展しつづけて、それが今日の都市づくりにもつながってきています。しかしながら、近年はJRびわこ線沿線の都市が急激に発展していることに比べ、私たちのまちはこれでよいのだろうかという課題が投げ掛けられています。もっと



まちに魅力と活力を生むべく、とりわけ商業に携わる者達の努力が求められてはいないでしょうか。駅前での近代化事業に続く更なるまちづくりへの取り組みや、市民とともに八日市の新しい商文化の創出をめざし、ここの「商徳塾」を開設します。

商徳は、開市の祖聖徳太子の抱いた大志にあやかり、新しい商いとまちづくりを育みます。聖徳は、商いを通じて徳を生む。商業者、市民、都市、の「三方よし」をめざします。

ここは現代のあきんど道とまちづくり実践研究の人間道場です。八日市の未来を切り拓こうとする人々の交流サロン「自由村」なのです。

[塾担当役]	塾主	住井 正勝	[住井歯科医院・院長、塾館オーナー]
	塾頭	二橋 貞雄	[八日市商工会議所・副会頭]
	塾長	織田 直文	[滋賀文化短期大学教授・京都大学博士（工学）]
世話役		村田眞一郎	[村田石油(株)・代表取締役]
		田中 敏彦	[株山彦・代表取締役]
		喜多 良道	[喜多酒造(株)・代表取締役]
		竹中 聡雄	[株ラプリーシステムイン・専務取締役]

- [講座内容]
- 八日市の歴史、風土、行政、まちの現況と未来像について学習します。
 - 先進地視察等先進事例の研究をします。
 - 時代潮流について学習します。
 - 八日市の商業、商店街活性についての調査研究を行います。

- [自主活動]
- 商業活性、商文化、まちづくりについての自由サロンを催します。
 - これからのまちづくりについての提案をします。
 - まちづくりについてのプロモートをします。

「衣・食・住・遊・休」をテーマにした ショッピングプラザ「アピア」デビュー。

ショッピングプラザ「アピア」は、(株)平和堂のジュニアデパート業態の「アル・プラザ八日市」を核店舗に、地元有力専門店のアピア専門店街（八日市商業開発協同組合）60店舗が集まった都市型総合ショッピングセンターです。テーマは「衣・食・住・遊・休」。地域の皆様に充実した新しいライフスタイルを提案するため、ショッピング以外の機能も多彩に備えています。

とくに、多目的ホールをはじめ、研修センターやマルチビジョン・情報検索コーナーなどを備えた情報プラザ、さらには子供図書館などの商業基盤施設の充実が、「アピア」最大の特徴。その他にも、夜間でも楽しめるレストラン街、屋内遊園地、カルチャー施設など生活を豊かにするサービス施設を各種併設。地域での最大規模のショッピングタウンの創造をめざし、待望のデビューを実現しました。



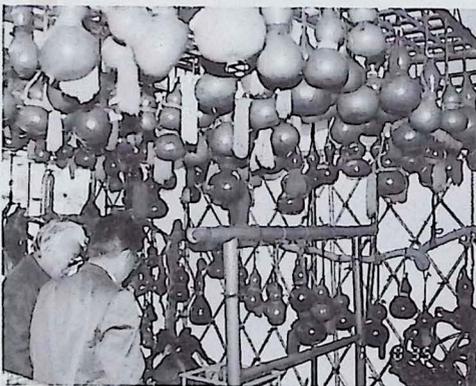
まちかど博物館

博物館の対象は本来、社会的に普遍性のある学術的・公的資料物件であり、博物館とはそれらの資料の保管・管理と展示、さらにはそれらを対象とした調査・研究を行う施設です。

これに対し、まちかど博物館は、地域の歴史資料や生活資料をいわばアトランダムに収集・保管管理・展示していくものであり、小さな施設がまちの中に点在する形をとります。多くの場合、

建物を新設するのではなく、まちかどに建つ歴史的建築物や商店、町工場の跡を再利用するのです。住民お手製の博物館なのです。

すなわち「『まちかど博物館』とは、地域内にある歴史的建築物・施設・工作物等（以下「施設」）そのもの、およびそれら施設の内外に存在する歴史的な物件・資料・情報や住民のコレクションを博物館の対象とし、これを地域主体で保全・保管・展示する施設をいう」と定義できます。



大通り商店街の一角に瓢箪の収集家の回瀧潤二さんが花店店舗の新築で空店舗となった旧店を再活用しようと40年前から集めてきた珍しい形のもの、古い年輪のもの、骨董価値のもの七百個余りを手づくりで陳列し公開しています。これは街を訪れる人々、買物客などの眼を楽しませたり、文化性に触れる機会を持ってもらおうとの町おこしの一念が突ったもので、街の話題となっています。

サンデー二五八市

目的

伝統ある市場まちとして栄えてきた八日市市において商店街は生活と賑わいの中心であり、商店が集まり心なごむサービスが受けられる地域です。

近年、大型店の出店等により客層が二極分化し、共同店舗への参画者の本店閉鎖等により空き店舗が目立ち、商店街は急速に疲弊、地盤沈下の様相を呈しています。こうした状況に対応し、市場まちの歴史に支えられてきた伝統を再生し賑わいを創出することにより商店街の活性化を図るものです。



概要

毎月第1日曜日を「市の日」と定め、大通り商店街第1駐車場と湖東信用金庫駐車場を交互に会場として開催。更に多方面からの出店者を募り、フリーマーケットの気軽さ、親しみ易さを醸し出すための企画、演出により開催するものとし、企画、演出、効果等については各商店街代表者による企画運営委員会を組織し研究、検討しました。

まちかど情報館

商店街の活性化を目指した空き店舗対策として「まちかど情報館」が平成8年5月に誕生しました。本町商店街の空き店舗の1階部分400平方メートルを活用し、郷土産物の展示・販売やギャラリー、フリーマーケットにも利用できるオープンスペースが確保され、物の販売を通して

様々な情報の発信と人と人とのコミュニケーション創りを図る施設として注目を集めています。商店街活性化対策としての有効利用を図るため八日市空き店舗対策委員会の検討によりこの構想が生まれました。情報館は、本町商店街振興組合、八日市市、八日市商工会議所、八日市市産物振興会の四者でまちかど情報館運営協議会を組織。「自由市場」としてのスペースを市民に提供しています。



春

3月第3日曜
◆御河辺祭(河桁御河辺神社)



▲最上おどり

4月1日~20日
◆桜まつり(延命公園)

延命公園▼



4月第1土・日曜
◆最上踊り(大森町・尻無町)

かつては東北一の大名でこの地に移った最上家が発祥で、300年の歴史をもつ郷土芸能。五穀豊穡、町内安全を祈願して奉納する踊りは、県の無形民俗文化財に選択されている。

4月第2日曜
◆建部祭(日吉神社・五個荘町合同)

古式ゆかしい王朝絵巻を思わせる祭礼が儼かに行われ、当日境内には七基のみこしが勢揃い。

ようかいちのおまつり

5月第3日曜
◆お田植大祭(太郎坊宮)

5月第4日曜
◆八日市大風まつり(愛知川河川敷)

国の無形民俗文化財に選択されている八日市大風(100畳敷)掲げは雄壮そのもの。その他、2~20畳のミニ大風や全国各地の風が空を舞う。



大風まつり▲

●大風会館

吹き抜けホールの畳100枚分の「八日市大風」の大きさにはびっくり。日本一の大きさを誇る八日市大風の伝統や製作の仕組みを展示パネルや映像で探ってみよう。国内外の風(約1,700枚収蔵)も鑑賞できる。東本町☎0748-23-0081/開館時間=9:00~17:00/入館料=大人200円/小中学生100円/休館日=水曜日・祝翌日・第4火曜日・年末年始/◎20台



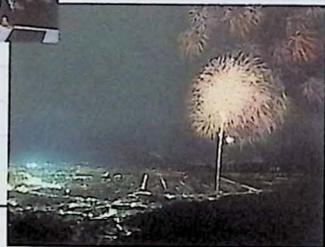
▲大風会館



◀聖徳まつり▼

7月下旬
◆聖徳まつり(市街地)

夏の夜空を花火が彩り、数千人が踊る江州音頭が響く...八日市は江州音頭の発祥地。八日市の夏はこの一大イベントではじまる。



夏

秋

10月下旬
◆蒲生野万葉まつり(万葉の森船岡山)

11月3日
◆二五八まつり(市街地)

昔、二・五・八のつく日に市が行われたことになんで行われる秋一番のイベント。青空の下でフリーマーケット方式の市が開かれ、数万人で賑う。



▲二五八まつり



▲万葉の森船岡山

●万葉の森船岡山

「西さす紫野行き標野行……」(額田王)万葉集で知られるこの恋歌の舞台が、船岡山を中心とする蒲生野。山頂には歌碑があり、万葉ロマンを思いおこす情景が広がる。ふもとには美しいレリーフや万葉植物園があり、つつじや萩も美しい。野口町・穂保町 ☎0748-24-1234(八日市市観光協会) / 近江鉄道市辺駅から徒歩5分/◎20台

瓦屋寺▶



●瓦屋寺

寺名は聖徳太子が四天王寺創建の際、瓦をこの地で造ったことに由来すると伝わる。もともとは瓦を焼いていた遊楽人の菩提寺がはじまりだという。荘厳な建築の本堂には千手観音立像(秘仏)が安置され、紅葉の頃に特に美しい。

建部瓦屋寺町☎0748-22-1065/近江鉄道八日市駅からタクシー5分/◎20台



12月8日
◆お火焚大祭(太郎坊宮)

除災招福として知られる太郎坊宮の火祭りでは、燃え続ける20~30万本の護摩に家内安全、無病息災を願う。火の勢いが弱まると山伏が裸足で火渡りを披露する。

◀お火焚大祭

1月8日
◆西市辺裸まつり(市辺薬師堂)

鎌倉時代から伝わる新年を祝う祭で、夜の闇の中でふんどし姿の男子が掛け声とともに天井の村一番の幸せ者になるといふ「まゆ玉」を奪い合う。県の無形民俗文化財に選択されている。

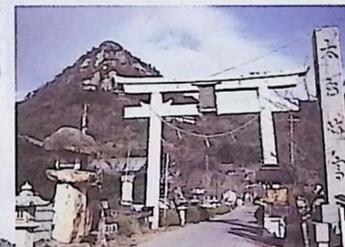


◀裸まつり

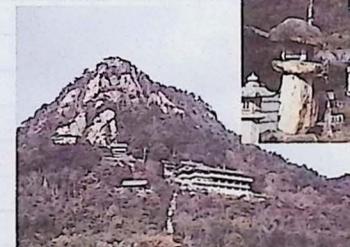
●太郎坊

「太郎坊さん」で親しまれている「勝運授福」のこの社を守るのは、京都鞍馬山の次郎坊の兄「太郎坊天狗」。本殿の前には多くの巨石・怪石が散在し、中でも悪心のあるものが通るとはさみつけるといふ「夫婦岩」には興味しんしん。

小島町☎0748-23-1341/近江鉄道太郎坊駅から徒歩10分/◎30台(本殿下)



▲太郎坊▲



●雪野山古墳

隣の近江八幡市と竜王町にまたがる雪野山。山頂から4世紀中頃の古墳が発見された。全国でも珍しい未盗掘の竪穴式石室からは多くの副葬品が出土し、中でも三角縁神獣鏡は、中国から邪馬台国の卑呼に贈られたといわれ、当時を知る貴重な資料になっている。ふもとに広がる雪野山歴史公園はそんな古代ロマンと緑にあふれ、自然の中で歴史散策が楽しめる。上羽田町☎0748-24-1234(八日市市観光協会)

冬

ようかいち絵地図



より一層地域を楽しむために。

湖東三山

国道307号線沿いに並ぶ天台宗のお寺の総称。西明寺(甲良町)、金剛輪寺(秦荘町)、百済寺(愛東町)はそれぞれに名庭園をもち、紅葉の名所。

永源寺(永源寺町)

臨済宗の大本山で、美しい渓谷と全山を彩る紅葉が有名。 ☎0748-27-0016

石塔寺(蒲生町)

日本最大・最古の三重塔はインドの王様から贈られたという。 ☎0748-55-0213

妹背の里(竜王町)

自然の中のバンガローで宿泊もできるアウトドアスポット。 ☎0748-57-1819

近江日野商人館(日野町)

質素で倹約な名近江商人の成功の秘訣を知ろう。 ☎0748-52-0007/230円
9:00~16:00/月・金曜日

水郷めぐり(近江八幡市)

屋形船でヨシの西の湖をのんびり巡ると情緒たっぷり。(要予約) ☎0748-33-6061 (近江八幡観光案内所)

安土城考古博物館(安土町)

城郭と考古をテーマにした展示や信長の愛用品が並ぶ。 ☎0748-46-2424/250円
9:00~17:00/月曜・祝翌日休

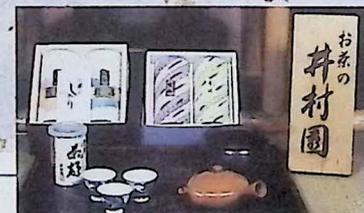
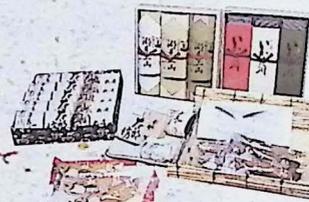
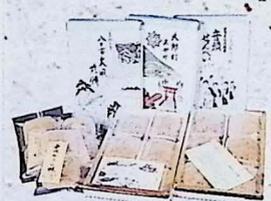
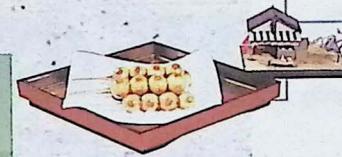
能登川水車とカヌーランド(能登川町)

直径13mの大きな水車がシンボルの親水公園。 ☎0748-42-3000
9:00~16:00/月曜・祝翌日休

五個荘町近江商人屋敷(五個荘町)

「滑つくし」の作者外村繁の生家に、近江商人の暮らしぶりが偲ばれる。 ☎0748-48-5676/200円
9:00~16:00/月・金曜・祝翌日休

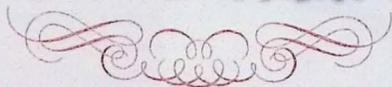
特産品



八日市市 物産振興会 会員の紹介

会員名	住所	生産品目等	TEL
株式会社 いのうえ	小畑町1009	菓子	23-5100
株式会社 井村園	金屋一丁目2-27	茶	22-0006
岩井亭	栄町2-9	精肉	22-0217
エスピー工芸社	金屋二丁目1-5	民芸品	22-0205
エンセルトランプ 株式会社	大森町2130	ランプ	22-2427
近江酒造 株式会社	上之町6-16	地酒	23-0001
大森屋本舗	本町7-9	菓子	22-0469
合資会社 岡崎製織場	野々宮町2-7	帯	22-0089
奥野酒造	下二保町416	地酒	22-0730
川口製菓	豊町185	大塚せんべい	22-2893
喜多紙工	今代町480	紙製品	24-0001
喜多酒造 株式会社	池田町1129	地酒	22-2505
北村美術彫刻所	上羽田町3939	彫刻	22-3280
木野食品	沖野一丁目4-10	つけもの	22-3661
京都マルイチ藤澤八日市工場	民無町308	佃所巻	22-1139
小籠商店	小畑町663	こんにゃく	22-1351
真田ひも	上羽田町613	真田ひも	22-2652
佐乃屋精肉店	本町7-8	精肉	22-2148
滋賀第五営農組合	市辺町2340	つけもの	22-6383
宿太醤油店	小畑町577	醤油	22-0238
精進軒製パン所	栗本町1-28	パン	22-0367
豊増	小畑町778-3	製菓	22-2940
豊清 森田商店	金屋一丁目2-7	製菓	22-1025
株式会社 谷利食品	栗本町14-2	豆腐製品	23-1118
大日本トランプ 株式会社	清水二丁目1-39	トランプ・花札	22-0971
つつみ機業所	妙法寺町883	金襴織物	22-2267
友栄堂	本町15-9	菓子	22-0618
中川畜産	野口町55-2	精肉	22-0603
布引焼	外引466	陶器	23-1688
畑酒造 有限会社	小畑町1410	地酒	22-0332
パンのカワバタ	上平木町2030-59	パン	23-5772
一二三堂	栄町3-30	和洋菓子	22-0556
福井酒造 有限会社	上平木町1412	地酒	22-3024
麩重	小畑町1401	麩	22-0587
ふる里食品	小畑町1288-9	みたらし団子	23-4362
ますきち	浜野町2-19	茶	22-0597
松下電器産業(株)掃除機事業部	林田町1500	掃除機	23-1141
丸中製麺 株式会社	近江町上野84-8	麺類	37-1761
丸安	金屋一丁目3-1	精肉	22-0040
村井淡水	上平木町1517	鮎寿司	22-5737
森井製瓦所	上羽田町1536	瓦	22-1927
有限会社 流水	沖野三丁目1-10	弁当	23-3713

八日市商工会議所の概要



会頭・副会頭・専務理事

会 頭



渡 辺 福之助

八日市小型運送有限会社取締役会長

信用は資本なり

副会頭

奥 村 晃一郎

株式会社太陽堂薬局代表取締役

塞翁が馬

副会頭

二 橋 貞 雄

株式会社二橋商店代表取締役会長

六十にして耳順う

専務理事



瀧 口 勇

偉大なる者は嵐の中に育つ

() 最下段のコメントは本人の信条です。

常 議 員



今宿市郎

近江酒造株式会社代表取締役

求大同 存小異



今宿三郎

丸一八日市総合青果株式会社代表取締役社長

誠実和をもって鋭意努力を



宇津木正久

滋賀銀行八日市東支店支店長

得意淡然・失意泰然



大橋 實

神崎証券株式会社取締役社長

あせらずあきずあきらめず



奥村章三

株式会社奥村鉄工所代表取締役

笑顔は金でない宝である



喜多良道

喜多酒造株式会社代表取締役

伝統とは革新の連続である



笹島孝二

タキロン株式会社八日市工場事務部長

最適感性とやりとげる信念



関司松兵衛

有限会社荒松商店代表取締役

つづけることはちから

常 議 員



角川敬三

大東設計事務所所長

21世紀にむかって新都市を



西沢高弘

料亭吉かつ経営者

誠実にまさる知恵なし



野田貞夫

一二三堂老舗経営者

客には親切丁寧に



林 健三

関西電力株式会社八日市営業所所長

「和、忍、断」



林 義孝

松下電器産業(株)掃除機事業部事業部長

志在千里



深田正治

株式会社滋賀報知新聞社代表取締役

世の為人の為に役立つ人に



前川 恕

前川木材株式会社代表取締役

努力と誠実



回 淵 治 二

株式会社花治商店取締役会長

今日の仕事を明日に延すな

常 議 員



村 防 龍 雄
村防工業株式会社代表取締役
転石苔を結ばず



村 田 眞 一 郎
村田石油株式会社代表取締役社長
データーをして語らしめる



森 義 也
(株)村田製作所八日市事業所事業所長
すなおな心



山 田 晴 一 郎
合名会社かじ藤商店代表社員
和をもって貴しとなす

監 事



重 田 宗 平
株式会社八日市中央水産代表取締役
自我作古



松 永 厚 生
湖東信用金庫理事長
自らの言動に責任を

議 員



足 立 勲
東洋ラジエーター(株)八日市製作所所長
行動、その源泉は「心」なり



池 田 謙 一
朝日冷凍機株式会社代表取締役
石に立つ矢!



磯 貝 武 司
太平楼経営者
誠実に責任を持って行動



今 宿 修 三
丸八建設株式会社副社長
正直者は馬鹿を見ない



大 洞 共 一
理容まつば経営者
愛に生る



岡 崎 一
合資会社岡崎製織場代表社員
たがいに助け合い



奥 源 三
株式会社奥鉄石油燃料店代表取締役
いつも改善



加 藤 喜 和
有限会社伸和電器商会代表取締役
何事も全力投球で!

議 員



川合健治
川合工業株式会社代表取締役
ひたすらなりし、我が歩み



河村尚昭
株式会社西与呉服店代表取締役
信用は無形の財産なり



熊木洋一
株式会社熊木代表取締役
努力と言う言葉が大好き



久保謹吾
エース証券八日市支店相談役
努力せずに理想は実現せぬ



小中儀隆
有限会社ヨークハウス代表取締役
目指せ！ エリア一番店



小林久雄
小林事務機株式会社代表取締役
初心忘るべからず



重森三良
株式会社重森スポーツ代表取締役
自瀝息まず



重森義彦
コマツ滋賀株式会社代表取締役
和顔愛語

議 員



謝豊亨
中国料理不二屋経営者
今後も一生懸命頑張ります



高畠忠司
平和建設株式会社常務取締役
日々前進



田中藤三郎
ワタナベ冷暖房設備株式会社代表取締役
信頼と共存共栄



田中敏彦
株式会社山彦代表取締役社長
お客様の喜び=私達の喜び



谷口敏勝
日本電信電話(株)八日市営業所所長
皆さんと共に歩む



堤隆郎
銘茶ますきち経営者
40年の礎さらに努力



外村芳夫
喜楽亭経営者
信実に勝るもの無し



中原周治
株式会社中原安全硝子代表取締役
桃李言わず下目から蹊を成す

議員



中村 弥一郎
株式会社近江ツーリスト代表取締役
親切 迅速 サービス



西川 平助
有限会社トラハイ代表取締役
忍耐、誠実、信用



根岸 邦興
株式会社びわこ銀行八日市支店支店長
明るく、遅しく、志を高く



疋田 忠夫
趣味の呉服ひきだ経営者
一期一会



疋出 廣幸
クリーンカー近江経営者
商売は人と人とのつながり



深澤 義和
凸版印刷株式会社総務部長
伝えたいことがいっぱい。



福島 泰藏
八日市アルミ鑄工所経営者
己に厳しく他人に優しく



藤村 洋二
近江鉄道株式会社八日市営業所所長
感謝と奉仕の精神で邁進を

議員



古川 晴一
たかれん経営者
不言実行



松木 眞一
関西日本電気㈱八日市工場事務課長
人生全てが成長の糧である



宮川 征一
ホテル海老長経営者
努力



森川 文三良
森川電子有限会社代表取締役社長
何事にも誠意と熱意を！



山川 和男
山川和男税理士事務所代表者
成せば成る



山川 武二
山川商店経営者
誠実一路



山田 倅造
丸和産業株式会社代表取締役
何事も誠心誠意で当る

第1期

昭和31年4月1日～昭和32年9月30日

会員数 800名



初代会頭
関司 松兵衛

設立とその経緯

昭和29年、八日市町と中野村が合併、引続き、翌30年近接5村（平田、市辺、玉緒、御園、建部）の合併により、八日市市が誕生した。

八日市市の誕生により、今までの商工会を商工会議所法による法人に改組する機運が起った。

設立発起人51名、その代表者を関司松兵衛氏とし、昭和31年1月18日設立趣意書を作成。同意を求めた処802名の同意があったので、昭和31年2月8日午後1時より八日市公民会館大広間に於て、648名の出席のもとに盛大に創立総会が開催された。

引続き、通産大臣宛設立認可申請書を提出し、昭和31年3月15日付を以て認可となり、同月30日付設立登記完了。同月31日付滋賀県知事宛登記完了届を提出。昭和31年4月2日成立式を挙行、ここに八日市商工会議所の設立を見るに至った。

昭和31年度

- 商工会議所組織の基礎確立と事業活動の普及PRに全力を傾注
- パンフレット「八日市の観光と産業」を発行

役職	氏名	役職	氏名
会頭	関司 松兵衛	議員	前川 捨蔵
副会頭	今宿 泰蔵	議員	多田 富蔵
副会頭	小梶 三右衛門	議員	岩根 宇一郎
専務理事	森井 滄	議員	梅辻 貞一郎
常議員	村田 和平	議員	高村 幸一
常議員	池田 峯次郎	議員	辻川 敬一
常議員	内片 陸郎	議員	北岸 幸太郎
常議員	平田 謙之助	議員	梅原 康三
常議員	小島 弘太郎	議員	福井 八右衛門
常議員	二橋 貞二郎	議員	田中 外次郎
常議員	井村 平三郎	議員	向 政五郎
常議員	斉藤 香苗	議員	山田 隣之助
常議員	山田 平治	議員	西堀 栄治郎
常議員	重森 文二	議員	尾羽 隆
監事	福原 捨次郎	議員	○中 沼 保 三
監事	山田 平治郎	議員	遠藤 三郎
議員	久保 半左衛門	議員	仙波 玄一
議員	松本 政治郎	議員	大橋 浜司
議員	外村 伊八	議員	西田 藤吉
議員	喜多 良三	議員	三浦 忠蔵
議員	藤川 勝次郎	議員	寺田 昇之助
議員	奥野 筆吉	議員	野畑 忠次郎
議員	久田 英二	議員	村田 梅吉
議員	村田 信一郎		

○は後任者

第2期

昭和32年10月1日～昭和35年9月30日

会員数 779名

昭和32年

昭和32年度に於ける我が国経済界は輸入著増による外貨保有の激減之が対策たる公定歩合の引上げ、之等を総合するデフレ策の強行により不況の波は漸次全国にひろがり、当八日市市に於てもその埒外にあるを得ず不景気が急速に迫って来て産業界の沈滞金詰りの様相を見るに至った。

昭和33年

鍋底といわれた我が国経済界は国際収支の好転にともない漸次回復に向いつつあるも地方経済界に於いては殆んどその影響を見ず、前年度に引続き横這いの景況に推移した。

昭和34年

海外の景況が反映して著しく上昇し、先年の神武景気を上回る岩戸景気を唱える程の好景気であったが、当市経済界においては殆んどその影響を見るに至らず横這いの景況に推移した。

昭和32年度

- 役員議員改選
- 八日市観光協会設立
- 延命山ドライブウェイ設置

昭和33年度

- 八日市市観光協会設立
- 従業員退職金制度創設
- 失業保険事務組合創設

昭和34年度

- 納税協会八日市支部設立
- 新江州音頭普及PR
- 菊花大会、品評会開催

役職	氏名	役職	氏名
会頭	関司 松兵衛	議員	松本 政治郎
副会頭	山田 平治	議員	志賀 末男
副会頭	○藤田 莊太郎	議員	前田 春吉
副会頭	内片 陸郎	議員	松宮 藤一郎
専務理事	森井 滄	議員	福井 八右衛門
常議員	北岸 幸太郎	議員	村防 龍蔵
常議員	井村 平三郎	議員	前川 捨蔵
常議員	二橋 貞治郎	議員	辻川 敬一
常議員	喜多 良三	議員	小梶 信次
常議員	重森 文二	議員	小島 外夫
常議員	斉藤 香苗	議員	梅辻 貞一郎
常議員	小梶 三右衛門	議員	久田 英二
常議員	高木 市治	議員	松吉 勝司
常議員	仙波 玄一	議員	西堀 栄治郎
常議員	珠玖 義造	議員	山田 庄太郎
常議員	○福原 憲治	議員	小島 弘太郎
監事	山田 平治郎	議員	小沢 文助
監事	三浦 忠蔵	議員	今宿 健三
議員	奥野 正七	議員	○今宿 泰蔵
議員	池田 峯治郎	議員	高田 嘉一
議員	中村 太郎	議員	向 政五郎
議員	西沢 久治	議員	山田 隣之助
議員	北岸 光治	議員	岡 治 常太郎
議員	外村 伊八	議員	○辻 卯 市
議員	高村 幸一	議員	○小島 晋三
議員	梅原 康三		

○は後任者

第3期

昭和35年10月1日～昭和38年9月30日

会員数 621名



二代会頭
今宿 泰蔵

昭和35年度

- 役員議員改選
- 小規模企業指導強化のため経営改善普及員設置
- 第10回えびす祭共催

昭和36年度

- 八日市織物工業協同組合設立
- 八日市工業会結成
- 延命山植樹

昭和37年度

- 商工婦人学級開設
- 会員企業巡回簡易診断実施
- 延命山観光道路竣工式
- 太郎坊ドライブウェイ竣工式

役職	氏名	役職	氏名
会頭	今宿 泰蔵	議員	向 政五郎
副会頭	内片 陸郎	議員	村田 梅吉
副会頭	西田 藤吉	議員	中村 太郎
専務理事	森井 滸	議員	福原 憲治
常議員	井村 平三郎	議員	北岸 光治
常議員	山田 隣之助	議員	森 稔
常議員	北岸 幸太郎	議員	藤井 幸雄
常議員	喜多 良三	議員	小沢 文助
常議員	仙波 玄一	議員	菊井 徳三
常議員	辻川 敬一	議員	松吉 勝司
常議員	二橋 貞治郎	議員	畑 善一
常議員	高木 市治	議員	前田 春吉
常議員	前川 捨蔵	議員	斉藤 香苗
常議員	西堀 栄治郎	議員	小島 弘太郎
監事	奥村 富士夫	議員	西沢 久兵衛
監事	三浦 忠蔵	議員	奥村 茂
議員	志賀 末男	議員	梅辻 定一郎
議員	福井 八右衛門	議員	小梶 三右衛門
議員	外村 伊八	議員	河村 金一
議員	梅原 康三	議員	小嶋 晋三
議員	松本 政治郎	議員	○野村 承一郎
議員	小梶 信次	議員	○中沢 徳三郎
議員	池田 峯次郎	議員	久田 英二

○は後任者

第4期

昭和38年10月1日～昭和41年9月30日

会員数 643名

昭和38年度

- 役員議員改選
- 八日市遊園地誘致
- 観光開発協議会開催
- 近鉄遊園地起工式

昭和39年度

- 労働福祉協議会設立
- 八日市市広域商業診断実施
- 商工会館改造
- 八日市遊園地開園式

昭和40年度

- 中小企業労務改善集団の指定
- 八日市観光地図作成、配布

役職	氏名	役職	氏名
会頭	今宿 泰蔵	議員	西沢 久治
副会頭	内片 陸郎	議員	村田 梅吉
副会頭	西田 藤吉	議員	松本 政治郎
副会頭	○山田 平治	議員	外村 伊八
専務理事	森井 滸	議員	福井 八右衛門
常議員	山田 隣之助	議員	小梶 信次
常議員	北岸 幸太郎	議員	森 稔
常議員	仙波 玄一	議員	端 俊男
常議員	喜多 良三	議員	梅原 康三
常議員	村田 信一郎	議員	三浦 忠蔵
常議員	中沢 徳三郎	議員	志賀 末男
常議員	○倉垣 憲一	議員	池田 峯次郎
常議員	二橋 貞治郎	議員	北村 繁太郎
常議員	岡崎 耕平	議員	前田 春吉
常議員	小梶 三右衛門	議員	松元 卯兵衛
常議員	前川 捨蔵	議員	梅辻 貞一郎
監事	向 政五郎	議員	辻川 敬一
監事	重森 文二	議員	西堀 栄治郎
議員	中村 太郎	議員	小島 弘太郎
議員	北岸 光治	議員	高木 市治
議員	西沢 定雄	議員	柳村 貞三
議員	青山 善平	議員	斉藤 香苗
議員	久保 謹吾	議員	川村 金一
議員	小沢 文助	議員	菊井 徳三

○は後任者

第5期

昭和41年10月1日～昭和44年9月30日

会員数 646名



三代会頭
岡崎 耕平



▲聖徳まつり

昭和41年度

- 役員議員改選
- 八日市工業振興協同組合設立
- 本町商店街振興組合設立

昭和42年度

- 八日市商工会館建設準備着手
- 本町商店街アーケード完成式
- 盆おどり大会開催

昭和43年度

- 八日市商工会館起工式
- びわこ祭盆おどり大会開催

役職	氏名	役職	氏名
会頭	岡崎 耕平	議員	村田 信一郎
副会頭	二橋 貞治郎	議員	前田 春吉
副会頭	奥村 晃一郎	議員	藤村 重吉
専務理事	森井 滄	議員	犬井 武雄
常議員	山田 隣之助	議員	内片 陸郎
常議員	北岸 幸太郎	議員	福原 憲治
常議員	仙波 玄一	議員	三浦 忠蔵
常議員	西沢 定雄	議員	小梶 三右衛門
常議員	川 副 清	議員	島 林 義雄
常議員	辻川 敬一	議員	志賀 末男
常議員	川村 金一	議員	松本 政治郎
常議員	久保 謹吾	議員	外村 伊八
常議員	喜多 良三	議員	小沢 安蔵
常議員	高木 市治	議員	池田 峯次郎
常議員	○笹井 太一	議員	小西 順市郎
監事	向 政五郎	議員	海外 貞雄
監事	三上 二三郎	議員	斉藤 香苗
議員	○村田 八郎	議員	沢田 健一
議員	○喜多 喜久子	議員	小島 弘太郎
議員	○木村 豊一	議員	松元 卯兵衛
議員	村田 梅吉	議員	稲垣 皓一
議員	小沢 文助	議員	○千田 信惇
議員	青山 善平	議員	辻 与惣二
議員	藤井 幸雄	議員	前川 捨蔵
議員	北村 繁太郎	議員	今宿 市郎

○は後任者

第6期

昭和44年10月1日～昭和47年9月30日

会員数 648名



▲商工会議所創立15周年記念式典

昭和44年度

- 役員議員改選
- 八日市商工会館竣工式

昭和45年度

- 八日市自動車協同組合設立
- 第1回聖徳まつり挙行
- 大型店対策調査研究事業実施

昭和46年度

- 商工会議所創立15周年記念式典挙行
- 不況対策企業診断実施
- 江勢道路早期完成促進運動展開

役職	氏名	役職	氏名
会頭	岡崎 耕平	議員	西田 藤吉
副会頭	二橋 貞治郎	議員	長野 重衛
副会頭	奥村 晃一郎	議員	川島 浩司
専務理事	北村 繁太郎	議員	小沢 康二
常議員	笹井 太一	議員	高木 達也
常議員	北川 脩	議員	松吉 郁郎
常議員	向 政五郎	議員	渡辺 福之助
常議員	前川 恕	議員	楠林 勘二郎
常議員	村田 八郎	議員	辻川 禎一
常議員	北岸 幸太郎	議員	奥出 栄司
常議員	石戸 慶次郎	議員	国寄 喜代助
常議員	西沢 定雄	議員	喜多 喜久子
常議員	村田 信一郎	議員	池田 峯次郎
常議員	福原 憲治	議員	村防 龍雄
監事	三上 二三郎	議員	北岸 正次
監事	○鳥塚 太源	議員	辻 与惣二
監事	久保 謹吾	議員	今宿 市郎
議員	藤井 幸雄	議員	木村 豊一
議員	山田 晴一郎	議員	西沢 久治
議員	村田 梅吉	議員	山田 隣之助
議員	前田 春吉	議員	速水 九一
議員	堀井 寅蔵	議員	中村 秀敏
議員	西川 平助	議員	仙波 玄一

○は後任者

第7期

昭和47年10月1日～昭和50年9月30日
 会員数 647名



四代会頭
 二橋 貞治郎

▲当時の会館



昭和47年度

- 役員議員改選
- 商工名鑑発刊記念式典挙行
- 商店街再開発問題着手

昭和48年度

- 大型店移転問題調査研究事業実施
- 中部地域商業振興構想策定
- 卸売市場問題調査研究事業実施
- 八日市市中小企業振興資金融資斡旋開始
- 朝市挙行
- 小規模企業経営改善資金融資斡旋開始

昭和49年度

- 中部地域卸売市場整備促進事業展開
- 八日市大通り商店街振興組合設立
- 八日市ショッピングセンター協同組合設立
- 第1回開市記念祭挙行

役職	氏名	役職	氏名
会頭	二橋 貞治郎	議員	村防 龍雄
副会頭	奥村 晃一郎	議員	坂口 実
副会頭	渡辺 福之助	議員	臼井 善勝
専務理事	北村 繁太郎	議員	西川 平助
常議員	笹井 太一	議員	村田 信一郎
常議員	村田 八郎	議員	北川 脩
常議員	北岸 幸太郎	議員	大野 勝太郎
常議員	石戸 慶次郎	議員	山田 晴一郎
常議員	奥出 栄司	議員	森 稔
常議員	○元 治 勝	議員	深尾 寅之助
常議員	長野 重衛	議員	楠林 勘二郎
常議員	福原 憲治	議員	今宿 三郎
常議員	鳥塚 太源	議員	古川 晴一
常議員	○沢田 正造	議員	回瀧 治二
常議員	堀井 寅蔵	議員	吉田 房治
常議員	前田 春吉	議員	佐藤 源治郎
監事	久保 謹吾	議員	北岸 正次
監事	西田 藤吉	議員	木村 豊一
議員	辻川 敬一	議員	喜多 喜久子
議員	中村 秀敏	議員	松吉 郁郎
議員	大洞 巖	議員	松村 篤之介
議員	村田 梅吉	議員	辻 与惣二
議員	小島 修	議員	重田 宗平
議員	西村 建司	議員	前川 恕

○は後任者

第8期

昭和50年10月1日～昭和53年9月30日
 会員数 696名



五代会頭
 福原 憲治



▲商工会議所創立20周年記念式典

昭和50年度

- 役員議員改選
- 大規模小売店舗に係る小売業の事業活動の調整実施
- 共同店舗建設のための中小企業振興事業団診断実施

昭和51年度

- 駅前開発懇話会設置
- 企業内同和教育活動推進
- 商工会議所創立20周年記念式典挙行

昭和52年度

- 企業内同和教育推進大会開催

役職	氏名	役職	氏名
会頭	福原 憲治	議員	村田 梅吉
副会頭	渡辺 福之助	議員	富田 芳雄
副会頭	重田 宗平	議員	田中 藤三郎
専務理事	阿部 秀二	議員	福原 憲治
常議員	沢田 正造	議員	中村 秀敏
常議員	○北川 一雄	議員	西沢 高弘
常議員	堀井 寅蔵	議員	辻 伝造
常議員	笹井 太一	議員	渡辺 福之助
常議員	北岸 幸太郎	議員	二橋 貞雄
常議員	村田 志郎	議員	辻川 敬一
常議員	前川 恕	議員	臼井 善勝
常議員	松吉 勝司	議員	加増 昭蔵
常議員	○村防 龍雄	議員	前田 春吉
常議員	北川 脩	議員	奥 源三
常議員	吉田 房治	議員	西田 芳夫
常議員	○三原 貞次郎	議員	重田 宗平
常議員	長野 重衛	議員	畑 喜内
常議員	北岸 正次	議員	大西 文蔵
常議員	大洞 巖	議員	西沢 喜兵衛
常議員	村田 八郎	議員	木村 豊一
常議員	前田 正武	議員	楠林 勘二郎
常議員	○深尾 寅之助	議員	小沢 国太郎
常議員	小嶋 外夫	議員	小川 信太郎
常議員	喜多 俊介	議員	小西 進
監事	久保 謹吾	議員	野田 貞夫
監事	山田 晴一郎	議員	今宿 三郎
議員	○山田 倅造	議員	鈴村 半三郎
議員	○奥村 章三	議員	広瀬 喜文
議員	○瀬戸口 義彦	議員	回瀧 治二
議員	○楠本 謹也	議員	中沢 新三郎
議員	○福澤 正雄	議員	勝山 進一

○は後任者

第9期

昭和53年10月1日～昭和56年9月30日
 会員数 853名



▲八日市市企業内同和教育推進大会

役職	氏名	役職	氏名
会頭	福原 憲治	議員	向 敏 男
副会頭	久保 謹吾	議員	福澤 正雄
副会頭	前川 恕二	議員	西川 悦夫
専務理事	阿部 秀二	議員	関司 松兵衛
常議員	杉本 和嗣	議員	謝 豊 亭
常議員	○北居 孝	議員	北岸 正次
常議員	村田 八郎	議員	角川 敬三
常議員	○吉岡 征一	議員	重田 宗平
常議員	久米 稔	議員	重田 宗平
常議員	中村 秀敏	議員	谷口 忠雄
常議員	喜多 俊介	議員	田中 藤三郎
常議員	渡辺 福之助	議員	加増 昭蔵
常議員	堀井 寅蔵	議員	片木 幸一
常議員	村防 龍雄	議員	辻 伝造
常議員	長野 重衛	議員	西沢 高弘
常議員	辻川 敬一	議員	宮川 征一
常議員	二橋 貞雄	議員	磯貝 武司
常議員	北岸 幸太郎	議員	富田 芳雄
常議員	小嶋 外夫	議員	北川 脩
常議員	前田 春吉	議員	宇野 正一郎
常議員	笹井 太一	議員	大西 文蔵
常議員	深尾 寅之助	議員	西澤 喜兵衛
常議員	中沢 新三郎	議員	山田 倅造
常議員	楠林 勘二郎	議員	奥村 章三
常議員	大洞 巖	議員	小川 信太郎
常議員	三原 貞次郎	議員	小澤 国太郎
常議員	○村田 志郎	議員	畑 喜内
監事	山田 晴一郎	議員	梅辻 幸男
監事	西田 芳夫	議員	今宿 三郎
議員	福原 範彦	議員	野田 貞夫
議員	広田 一郎	議員	鈴村 半三郎
議員	藤島 健治	議員	広瀬 喜文
議員	林 栄七	議員	回 治二
議員	岩根 卯平	議員	楠本 謹也
議員	村田 眞一郎	議員	○北沢 浩治
			木佐一 哲郎

○は後任者

第10期

昭和56年10月1日～昭和59年9月30日
 会員数 996名



▲マーケット商工会議所との姉妹協定調印式



▲'82八日市産業フェア

昭和56年度

- 役員議員改選
- 第36回国民体育大会（びわこ国体）のための街頭装飾、売店運営
- 大型店出店凍結宣言
- 商工会議所創立25周年記念式典挙行

昭和57年度

- 八日市市公設地方卸売市場開場
- '82八日市産業フェア挙行

昭和58年度

- アメリカ合衆国ミシガン州マーケット商工会議所との姉妹協定調印
- 八日市駅前近代化協同組合設立
- 八日市市駅前地区土地区画整理事業のための商業近代化調査
- 八日市卸売団地設立構想樹立

役職	氏名	役職	氏名
会頭	福原 憲治	議員	西川 悦夫
副会頭	渡辺 福之助	議員	外村 芳夫
副会頭	二橋 貞雄	議員	宇野 正一郎
専務理事	阿部 秀二	議員	田中 藤三郎
常議員	前田 春吉	議員	古川 晴一
常議員	深尾 寅之助	議員	松吉 宏治
常議員	笹井 太一	議員	小林 久雄
常議員	長野 重衛	議員	藤原 康行
常議員	○小川 信太郎	議員	中原 周治
常議員	堀井 寅蔵	議員	小澤 国太郎
常議員	小嶋 外夫	議員	片木 幸一
常議員	辻川 敬一	議員	今木 哲男
常議員	奥村 晃一郎	議員	関司 松兵衛
常議員	前川 恕二	議員	竹村 篤治
常議員	大洞 巖	議員	河瀬 清一
常議員	楠林 勘二郎	議員	○伊藤 善彦
常議員	北岸 正次	議員	大西 文蔵
常議員	久保 謹吾	議員	西沢 喜兵衛
常議員	北居 孝	議員	山田 倅造
常議員	○中野 友秋	議員	奥村 章三
常議員	小林 安雄	議員	奥 和男
常議員	木下 幸男	議員	村田 眞一郎
常議員	木佐一 哲郎	議員	畑 喜内
常議員	辻 伝造	議員	山田 林市郎
常議員	○森 稔	議員	今宿 三郎
常議員	森 喜造	議員	野田 貞夫
常議員	村防 龍雄	議員	岩根 卯平
監事	山田 晴一郎	議員	大橋 實
監事	西田 芳夫	議員	回 治二
議員	富田 芳雄	議員	角川 敬三
議員	西沢 高弘	議員	福原 範彦
議員	磯貝 武司	議員	小林 勇
議員	謝 豊亭	議員	○辻 三光
議員	宮川 征一	議員	藤田 工イ子
議員	山田 明宏		

○は後任者

昭和53年度

- 役員議員改選
- 八日市駅前地区土地区画整理事業推進

昭和54年度

- 商工会議所会員増強運動展開、組織率50%突破

昭和55年度

- 八日市市広域商業診断実施
- 京都・八日市・桑名線国道昇格運動展開
- 八日市市企業内同和教育推進協議会設立

第11期

昭和59年10月1日～昭和62年9月30日
 会員数 952名



▲八日市市制30周年記念行事



▲八日市輸入品フェア

昭和59年度

- 役員議員改選
- 八日市市制施行30周年
- 八日市産業空港誘致計画調査研究
- マーケット市に国際交流使節派遣

昭和60年度

- 創立30周年記念事業特別委員会の設置、活動
- 商業近代化計画基本構想策定事業実施
- マーケット市使節団歓迎行事

昭和61年度

- 八日市市の人口4万人を突破
- 商工会議所創立30周年記念式典挙行
- 八日市輸入品フェア挙行
- 地方空港について調査研究
- マーケット市に国際交流使節派遣

役職	氏名	役職	氏名
会頭	福原 憲治	議員	田中 藤三郎
副会頭	渡辺 福之助	議員	竹中 弘
副会頭	二橋 貞雄	議員	向 敏男
専務理事	阿部 秀二	議員	堤 隆郎
常議員	凶司 松兵衛	議員	堤 宗三良
常議員	深尾 寅之助	議員	藤原 康行
常議員	笹井 太一	議員	古島 実
常議員	西田 芳夫	議員	村防 龍雄
常議員	堀井 寅蔵	議員	苗村 淳
常議員	角川 敬三	議員	小澤 国太郎
常議員	辻川 敬一	議員	玉水 小次郎
常議員	奥村 晃一郎	議員	奥 和男
常議員	前川 恕	議員	加藤 喜和
常議員	大洞 巖	議員	前田 春吉
常議員	楠林 勘二郎	議員	中山 猛
常議員	山田 晴一郎	議員	中原 周治
常議員	久保 謹吾	議員	喜多 良道
常議員	浅田 孝	議員	加藤 博之
常議員	○山本 正之	議員	奥村 章三
常議員	西沢 高弘	議員	山田 倅造
常議員	林田 洋一	議員	奥野 幾三郎
常議員	○亀田 利男	議員	大野 唯彦
常議員	瀬戸口 義彦	議員	村田 眞一郎
常議員	森 稔	議員	山田 林市郎
常議員	森 喜造	議員	今宿 三郎
常議員	奥田 平八	議員	野田 貞夫
監事	小川 信太郎	議員	岩根 卯平
監事	小林 安雄	議員	大橋 實
議員	宮川 征一	議員	回 治二
議員	山田 明宏	議員	大西 文蔵
議員	磯貝 武司	議員	辻 三光
議員	小林 久雄	議員	○生田 哲一
議員	村田 志郎	議員	福原 範彦
議員	謝 豊亭	議員	稲次 良弘

○は後任者

第12期

昭和62年10月1日～平成2年9月30日
 会員数 943名



六代会頭
 渡辺 福之助

昭和62年度

- 役員議員改選
- マーケット市使節団歓迎行事
- 滋賀空港誘致協議会設立

昭和63年度

- 大型店出店凍結宣言解除
- 八日市布引工業団地竣工
- 滋賀文化女子短期大学誘致が決まる
- 「消費税法」公布、施行
- マーケット市に国際交流使節団派遣

平成元年度

- 「消費税」導入
- 青年部設立
- 会館建設企画委員会設立
- 雪野山古墳で四世紀の未盗掘竅穴式石室発見
- マーケット市長と会頭会議・使節団歓迎行事
- 滋賀空港地域開発推進協議会設立
- 会員増強運動

役職	氏名	役職	氏名
会頭	渡辺 福之助	議員	堤 隆郎
副会頭	奥村 晃一郎	議員	宮川 征一
副会頭	二橋 貞雄	議員	外村 芳夫
専務理事	阿部 秀二	議員	磯貝 武司
専務理事	○瀧口 勇	議員	古島 実
常議員	福原 憲治	議員	中川 春男
常議員	笹井 太一	議員	中原 周治
常議員	森 稔	議員	山田 明宏
常議員	久保 謹吾	議員	苗村 淳
常議員	前川 恕	議員	坂井 吉雄
常議員	今宿 三郎	議員	小椋 昭治
常議員	凶司 松兵衛	議員	中山 猛
常議員	西沢 高弘	議員	松吉 勝司
常議員	大洞 巖	議員	堤 宗三郎
常議員	深尾 寅之助	議員	岡崎 一
常議員	中嶋 定彦	議員	加藤 喜和
常議員	亀田 利男	議員	中島 敏
常議員	○田上 幸雄	議員	凶司 信行
常議員	瀬戸口 義彦	議員	川合 健治
常議員	若林 隆三	議員	村防 龍雄
常議員	角川 敬三	議員	高島 忠司
常議員	生田 哲一	議員	山田 倅造
常議員	○上松 萬暎	議員	村田 眞一郎
常議員	奥 源三	議員	大野 唯彦
常議員	山田 林市郎	議員	楠林 勘二郎
常議員	奥村 章三	議員	古川 晴一
常議員	喜多 良道	議員	岩根 卯平
監事	山田 晴一郎	議員	野田 貞夫
監事	林 道彦	議員	大橋 實
議員	小沢 善之助	議員	富田 進
議員	前田 春夫	議員	回 治二
議員	小林 久雄	議員	河崎 信男
議員	今宿 市郎	議員	稲次 良弘
議員	謝 豊亭	議員	松田 悟
議員	田中 藤三郎		

○は後任者

第13期

平成2年10月1日～平成5年9月30日
 会員数 1,139名

平成2年度

- 役員議員改選
- 滋賀文化短期大学開学
- 八日市駅前土地区画整理事業起工式
- 専務理事
- 会員増強運動
- 大規模小売店舗に関する調整
- 会館用地一部購入
- 経営改善普及事業発足30年
- マーケット市に国際交流使節団派遣
- 所報月刊発行開始

平成3年度

- 八日市商工会議所会館起工式
- 大規模小売店舗に関する調整
- 世界風博物館八日市大風会館オープン
- 布引運動公園体育館竣工
- 「特定商業集積法」が成立し、「高度商業集積型」と「地域商業活性化型」の2つのタイプを制定
- 新会館建設資金調達募金活動
- 商業活動調整協議会設置規程の廃止・八日市商業まちづくり委員会設置
- マーケット市使節団歓迎行事
- 「びわこ空港」第6次空港整備計画に組み入れられる
- びわこ空港地域開発推進協議会設置

平成4年度

- 八日市商工会議所新会館竣工式
- 八日市市特定商業集積整備基本構想策定
- 第三セクター法人「八日市駅前商業開発株式会社」設立
- マーケット市に国際交流使節団派遣

役職	氏名	役職	氏名
会頭	渡辺 福之助	議員	堤 隆 郎
副会頭	奥村 晃一郎	議員	宮川 征 一
副会頭	二橋 貞 雄	議員	大洞 共 一
専務理事	瀧口 勇 雄	議員	山田 倅 造
常議員	福原 憲 治	議員	森川 文三良
常議員	大橋 實 毅	議員	中村 弥一郎
常議員	森 稔 三	議員	中原 周 治
常議員	久保 謹 吾	議員	奥野 幾三郎
常議員	上松 萬 映	議員	稲次 良 弘
常議員	○林 健 三	議員	村田 順 司
常議員	前川 恕 三	議員	小椋 昭 治
常議員	川合 健 治	議員	福島 泰 蔵
常議員	今宿 三 郎	議員	堤 宗三郎
常議員	西沢 高 弘	議員	岡崎 一 一
常議員	関司 松兵衛	議員	加藤 喜 和
常議員	山田 晴一郎	議員	中島 敏 敏
常議員	伴 正 治	議員	藤井 進 進
常議員	○木下 幸 男	議員	西村 信 夫
常議員	○川嶋 八 郎	議員	重森 義 彦
常議員	佐藤 建 一	議員	高 島 忠 司
常議員	若林 隆 三	議員	田中 藤三郎
常議員	奥 源 三	議員	村田 眞一郎
常議員	角川 敬 三	議員	小林 久 雄
常議員	今宿 市 郎	議員	岩根 卯 平
常議員	喜多 良 道	議員	野田 貞 夫
常議員	村防 龍 雄	議員	高田 隆 夫
常議員	山田 林市郎	議員	○吉川 絢次郎
常議員	○古川 晴 一	議員	外村 芳 夫
監事	奥村 章 三	議員	磯貝 武 司
監事	北川 保 幸	議員	回 瀧 治 二
監事	○久保 健 吾	議員	山川 武 二
議員	加藤 昌 平	議員	○松本 泰 一
議員	小沢 善之助	議員	○赤堀 肇 一
議員	深田 正 治	議員	藤本 長 蔵
議員	田中 敏 彦	議員	川嶋 之 生
議員	謝 豊 亭	議員	松 田 悟
議員	重 森 三 良		

○は後任者

第14期

平成5年10月1日～平成8年9月30日
 会員数 1,216名

平成5年度

- 役員議員改選
- 小規模事業者支援促進法の制定
- 地域振興ビジョン策定委員会設置
- 八日市駅前ショッピング・プラザ・アピア起工式
- 八日市駅前に「ピアシティ八日市」オープン
- 大規模小売店舗に関する調整
- マーケット市使節団歓迎行事
- 会員増強運動推進55%突破

平成6年度

- 八日市駅前ショッピングプラザ「アピア」オープン
- 市制施行40周年・中国湖南省常德市と友好都市締結調印
- 兵庫県南部地震起こる
- 八日市カードシステム協同組合設立
- 会員組織率57%

平成7年度

- 八日市商工会議所婦人会設立
- 八日市工業クラブ設立
- 製造物責任法（PL法）が施行
- 八日市市商店街空き店舗実態調査研究委員会設置
- ふるさと商工振興計画実現化委員会設置
- 商徳塾の開塾
- 八日市まちかど博物館1号館オープン・まちかど情報館オープン
- サンデー二五八市実施
- ピアシティグランドオープン
- 創立40周年記念式典・記念誌発刊
- 定款改正（議員定数70名に）

役職	氏名	役職	氏名
会頭	渡辺 福之助	議員	熊木 洋 一
副会頭	奥村 晃一郎	議員	小中 儀 隆
副会頭	二橋 貞 雄	議員	重森 三 良
専務理事	瀧口 勇 雄	議員	謝 豊 亭
常議員	今宿 市 郎	議員	田中 敏 彦
常議員	今宿 三 郎	議員	堤 隆 郎
常議員	大橋 實 毅	議員	中村 弥一郎
常議員	奥村 章 三	議員	中原 周 治
常議員	喜多 良 道	議員	西川 平 助
常議員	関司 松兵衛	議員	福島 泰 蔵
常議員	角川 敬 三	議員	古川 晴 一
常議員	深田 正 治	議員	宮川 征 一
常議員	西沢 高 弘	議員	森川 文三良
常議員	前川 恕 三	議員	山川 和 男
常議員	回 瀧 治 二	議員	山川 武 二
常議員	村防 龍 雄	議員	山田 倅 造
常議員	村田 眞一郎	議員	吉川 絢次郎
常議員	森 稔 三	議員	○宮川 俊 男
常議員	○野田 貞 夫	議員	重森 義 彦
常議員	山田 晴一郎	議員	疋出 廣 幸
常議員	久保 健 吾	議員	池田 謙 一
常議員	○宇津木 正 久	議員	川合 健 治
常議員	稲次 良 弘	議員	高 島 忠 司
常議員	林 健 三	議員	田中 藤三郎
常議員	川嶋 八 郎	議員	小林 久 雄
常議員	○木下 幸 男	議員	疋田 忠 夫
常議員	木下 殖 之	議員	若林 隆 三
常議員	○森 義 也	議員	○藤村 洋 二
監事	重田 宗 平	議員	外村 芳 夫
監事	松 永 厚 生	議員	磯貝 武 司
議員	今宿 修 三	議員	川嶋 之 生
議員	大洞 共 一	議員	○松木 眞 一
議員	岡崎 一 一	議員	赤 堀 肇 一
議員	奥 源 三	議員	○谷口 敏 勝
議員	加藤 喜 和	議員	○佐藤 建 一
議員	河村 尚 昭	議員	村 山 康 治
議員	久保 謹 吾		

○は後任者

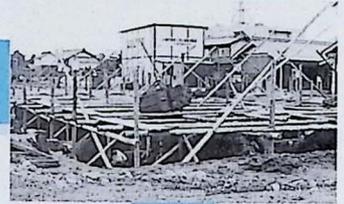
商工業者の殿堂 完成

新会館の建設事業

八日市商工会議所40周年の歴史の中で会館の新築事業は2度目です。以前の会館の完成が昭和44年に行われてより、20数年で再度の建築を行いました。この度の会館建設事業は、八日市駅前6.7ヘクタールの土地区画整理事業に伴う移転によるもので、平成3年11月22日に起工し、翌年10月25日竣工、11月5日オープンしました。11月11日、9時30分から清破式を斎行。11時00分から四階大ホールに於いて、270人の参列で竣工式典と祝賀会を催しました。

総事業費は土地買増しを含め八億四千万円を計上、財源内訳は移転補償金29,000万円、県・市補助金各6,000万円、当所役員・議員はじめ企業会員から特別負担金として総額41,000万円のご協賛を仰いだ額と、積立金2,000万円を充当したものであります。当館規模は2,009平方メートルで、特筆すべきは、大ホール・インフォメーションホールで、新時代に向けた装備としています。

◀ 起工式 H3.11.22



工事現場



会館正面



竣工式 H4.11.11



竣工祝賀会場



渡辺会頭の挨拶

商工会議所の組織

【商工会議所とは】

商工会議所は、地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域総合経済団体です。商工会議所の活動は、業種、形態、規模の大小を問わず、地域産業全般の振興発展をはかるとともに、社会福祉の推進に資することを目的としています。全国513の商工会議所は業種や企業規模を越えた155万余りの会員を擁し全ての会員は日本商工会議所と結ばれています。ひとりひとりの意見は小さくとも、あなたの意見は会議所の意見となり、さらに日本商工会議所の意見とすることができます。

【会 員】

商工会議所の運営をささえ、事業活動の推進力となるのは会員です。会員は自分の事業の発展のために会議所を十分に活用することができます。

◆特定商工業者

地域内の商工業者で、資本金15万円以上の法人または、事業税24,000円以上の法人、個人は法の定めにより、特定商工業者として商工会議所に登録されます。

◆部 会

部会活動は商工会議所活動の基盤です。
会員は事業の種類ごとにそれぞれの部会に所属します。
10部会。

◆委 員 会

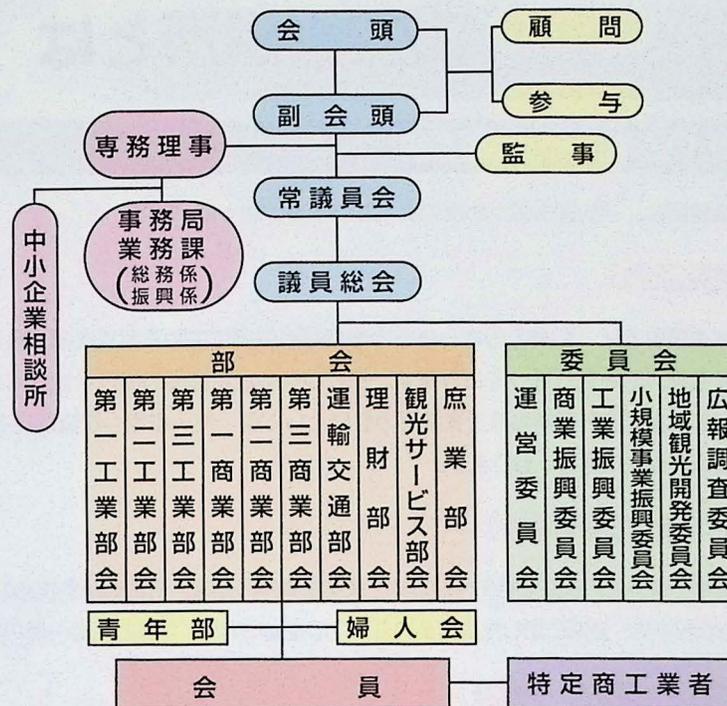
商工会議所の運営や意見活動、あるいは経済問題、地域の諸問題について専門的な立場から調査、研究するための機関です。
商工会議所では現在、6常設委員会及び特別委員会をおいています。

◆議員総会

商工会議所には、最高意志決定機関として、議員総会をおいています。



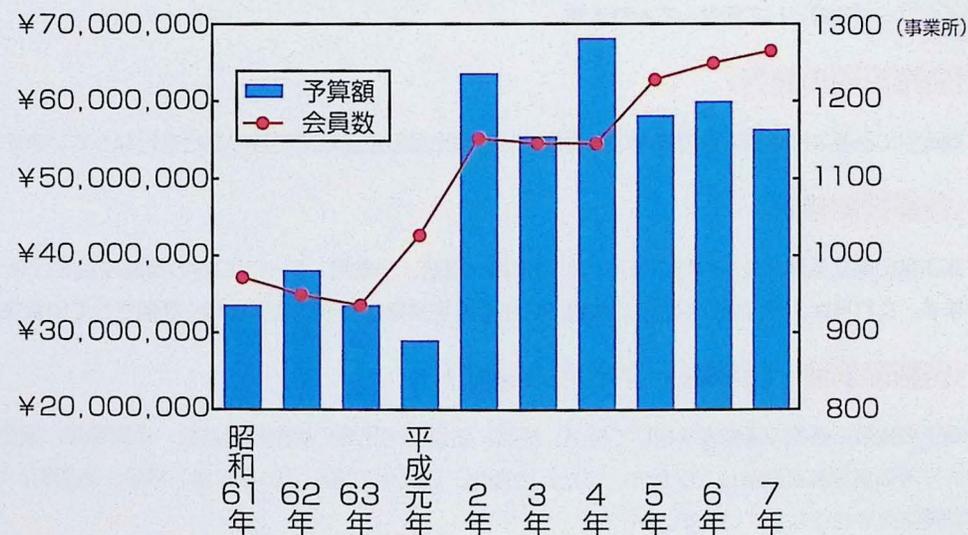
機 構 図



■ 議員総会を構成する議員の種類

- 1号議員=会員及び会員以外の特定商工業者が投票によって、会員のうちから選挙によって選ぶ議員です。
- 2号議員=部会が部会員のうちから選ぶ議員です。
- 3号議員=1号議員、2号議員による協議会において選ぶ議員です。

近年の会員の推移及び一般会計予算



商工会議所とは

商工会議所の事業活動

商工会議所は、目的達成のため次のような事業を行なっています。

《意見活動》

商工会議所では、会員の皆さんからの地域経済振興に関わる意見を部会並びに委員会において審議・検討する意見活動を行なっております。これらをもとに各地の特性を生かした地域開発を円滑に行なうため、広く業界の声を集め商工会議所の意見として国・県・市等へ建議要望を行ない豊かなまちづくり、地域経済の発展に努めております。

《商工業の振興活動》

技術化・情報化の高度化時代へ対応する産業振興策の推進、労働問題や流通の複雑化等めまぐるしく移り変わる状況下で、変革に即した商工業の近代化の推進に努め、産業基盤の一層の充実に努力を傾けています。

《商取引の紹介・斡旋》

全国の商工会議所相互に連絡を取りながら、商取引の紹介・斡旋、販路開拓にも商工会議所はお手伝いを致しております。

《各種調査・広報活動》

景況はじめ労働等各種の調査活動を行ない、会員の皆様へ経営に関する情報としてご利用いただいております。また「商工ようかいち」という広報誌を通じて、毎月の商工業の情報や会議所活動についてタイムリーな情報として提供しております。

《各種証明の発行》

商取引に必要な営業証明や国際的な商慣習として輸出品の原産地証明等の発行を行なっています。

《各種技能検定》

商工業に関する技術及び技能の普及のため珠算、簿記、小売商、ワープロ等の技能検定を行なっております。これらは、商工会議所独自の検定で合格者は実業界からその技術を高く評価されています。

《各種講演会・講習会・見学会の開催》

商工会議所に各界の権威者を招いて経済、経営、法規、労務等の解説の講演会、品質管理、販売技術、マナー等の講習会を開催しています。また、合理化・近代化の進んでいる工場、施設、商店街、地域の視察見学会等も行なっています。



▲ パソコン講習会



▲ 従業員永年勤続表彰

《優良従業員表彰》

会員事業所で永年勤続され、他の模範となる優良従業員の表彰を行い従業員の勤労意欲の高揚と雇用の定着対策を図っています。

《事務代行》

商工会議所では労働保険の事務代行を行なっています。

《同和教育への取組み》

より明るい職場づくりと差別の根絶をめざして、今後の同和教育の解決に向けた教育および啓発活動の推進体制を整え、国・県・市との連携協力のもとに人権意識の啓培に努力と実践面の創意工夫によって効果を期すという基本的な方針の下に活動しております。具体的な事業活動の展開のため会員向けの同和教育・啓発について啓発研修機構を設定、パネル展やフォーラムの開催、新入社員研修の実施等積極的な事業を展開しております。

《各種共済制度》

会員ならびに従業員の福利厚生を目的とした各種共済制度を取扱っております。

八日市商工会議所 中小企業相談所とは

八日市商工会議所では、中小企業相談所を設置し、中小企業、特に比較的規模の小さい小規模事業者が経済環境の変化に適応し、経営の合理化・近代化・体質強化を図るため、経営指導員等並びに小規模企業振興委員・専門指導員による経営改善普及事業を行なっています。

商工業に関する相談・指導

《金融》

小企業等経営改善資金・国民金融公庫・中小企業金融公庫等の政府系資金、県制度資金、市融資制度等に関する相談・指導並びに斡旋

《税務・経理》

記帳から決算・申告までの指導、青色申告申請指導、源泉税や年末調整等の指導 また、青色申告者等の合理的な記帳方法の指導、経営内容の把握の指導等

《経営》

企業診断をはじめ経営の合理化・近代化、体質強化、店舗改装等の指導

《労働》

労働保険関係法律知識の普及、労務管理、雇用管理、労働関係諸規程の作成指導、労働保険への加入手続き、社会保険、小規模企業共済等の普及指導

《取引》

技術の改善、商取引等に関する相談指導・斡旋、仕入先・販売先の紹介
その他、経営及び技術に関する情報及び資料の収集並びに提供

商工業に関する講習会、講演会の開催

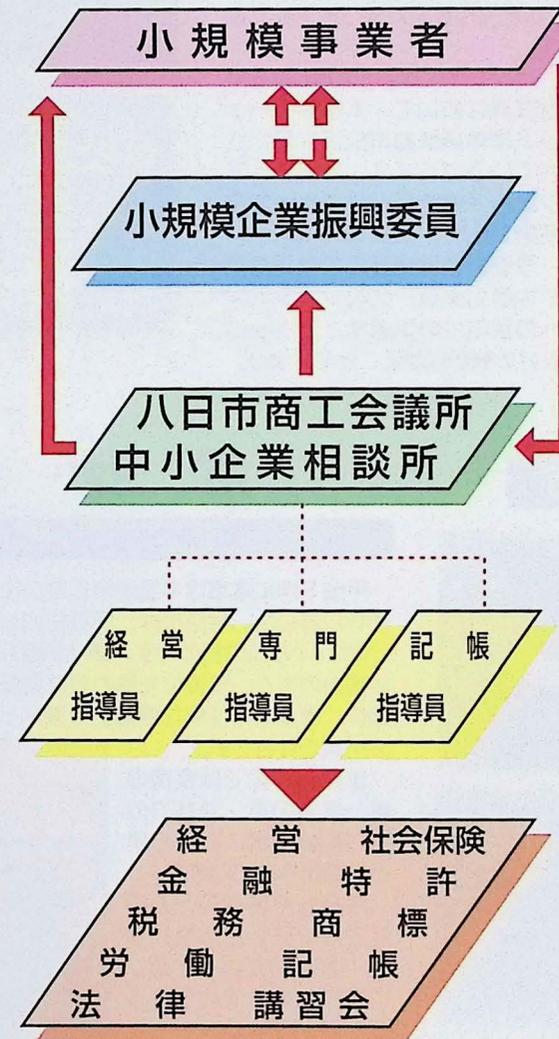
青年部、婦人会に関する指導育成

地域商工業の発展に関する調査及び研究

新たな特産物等の開発と販路の開拓から地域活性化を図る事業

小規模企業振興委員会

小規模企業振興委員は、国の定めた「経営改善普及事業」に基づいて、経営者の身近な相談役として経験豊富な方を、会頭が委嘱し経営上のいろいろな悩みの相談を受け、当所の経営指導員に連絡するなど、経営者と商工会議所のパイプ役をつとめています。





広がる友好の輪

国際交流



マーケット市

アメリカ合衆国

昭和54年に本市と姉妹都市提携を交わしたアメリカ・ミシガン州のマーケット市は、人口約23,000人、面積約30平方キロで本市より少し小さめの都市です。カナダとの国境近くにあり、アメリカ五大湖の1つ、スペリオール湖がまちの美しい風景をその湖面に映しています。また、約8,900人の学生が学ぶ州立北ミシガン大学や図書館・博物館など文化施設が整う教育文化都市でもあります。



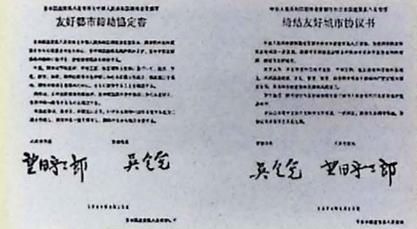
平成6年には、市制40周年記念式典において、本市とマーケット市の姉妹都市交流に尽力されているブライス・H・デュアフェルト博士に八日市市名誉市民第1号が授与されました。

今後も親善使節団の相互訪問や中学生交流、北ミシガン大学への留学生の派遣などでさらに友好の輪が広がることでしょう。

姉妹都市



友好都市



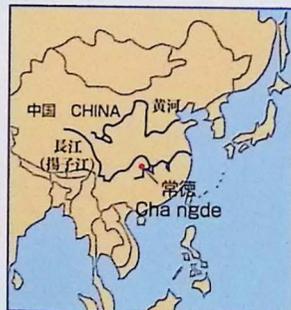
常德市

中国

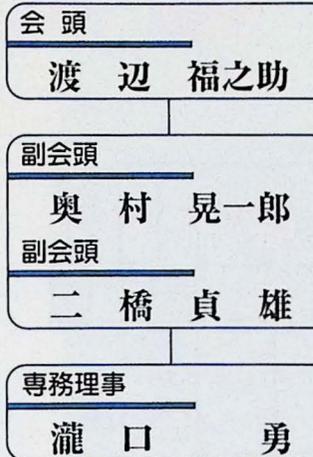
平成6年に本市は中国湖南省常德市と友好都市提携を交わしました。常德市は、面積約18,200平方キロ、人口は571万人の都市です。風光明媚なところで、美しい武陵山のもと、漢詩にも詠われた洞庭湖の西に位置しており、陶淵明の『桃花源記』の舞台となったといわれる桃花源で有名です。

また、中国では食糧の倉、お酒の市、タバコの都、紡績の城、お茶の里として知られています。

今後も親善使節団の相互訪問や研修生の相互受入、教育交流などを通して友好が更に深められることでしょう。



創立40周年記念事業組織図



総務委員会

委員長	前川 恕
副委員長	奥村 章三
委員	渡辺福之助 山田晴一郎
	奥村晃一郎
	二橋 貞雄
	瀧口 勇
	重田 宗平
	松永 厚生
	今宿 市郎
	久保 謹吾

- 分掌業務 1. 総合企画に関すること
2. 予算に関すること
3. 他の委員会に属しないこと

式典委員会

委員長	大橋 實
副委員長	山川 和男
委員	村防 龍雄 疋出 廣幸
	林 健三 熊木 洋一
	今宿 三郎 謝 豊亭
	堤 隆郎 中原 周治
	回淵 治二 関司松兵衛
	高島 忠司 外村 芳夫
	山川 武二 谷口 敏勝
	河村 尚昭 大洞 共一

- 分掌業務 1. 式典に関すること
2. 表彰に関すること
3. 祝宴に関すること

記念誌発刊委員会

委員長	深田 正治
副委員長	木下 幸男
委員	深澤 義和 奥 源三
	宇津木正久 今宿 修三
	西川 平助 池田 謙一
	小林 久雄 宮川 征一
	川合 健治 森川文三良
	重森 三良 松木 真一
	山田 倅造 村山 康治
	古川 晴一 喜多 良道

- 分掌業務 1. 記念誌編集発行に関すること
2. 会員名簿、商工業者台帳に関すること
3. 広告に関すること

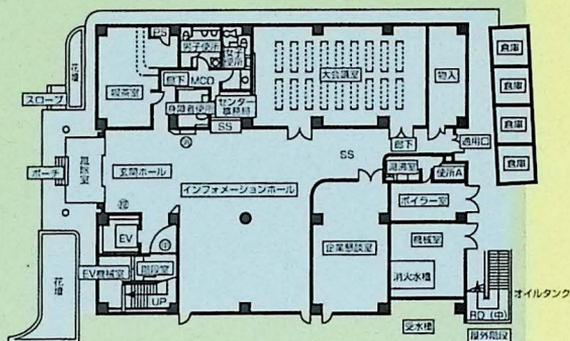
事業委員会

委員長	角川 敬三
副委員長	西沢 高弘
委員	村田真一郎 小中 儀隆
	藤村 洋二 稲次 良弘
	加藤 喜和 宮川 俊男
	福島 泰蔵 岡崎 一
	田中藤三郎 田中 敏彦
	野田 貞夫 疋田 忠夫
	木下 殖之 中村弥一郎
	重森 義彦 磯貝 武司

- 分掌業務 1. 記念事業の計画に関すること
(中国経済視察団、物産、祭典)
2. 会員むけ催事に関すること
3. 協賛金に関すること

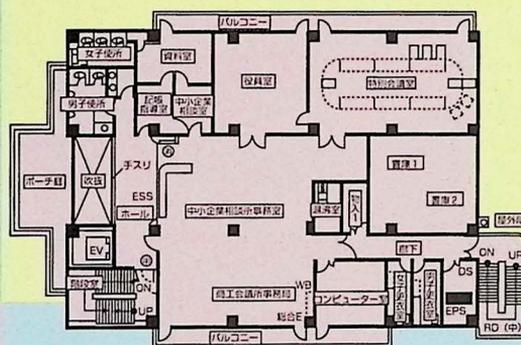
会館の案内

平面配置図

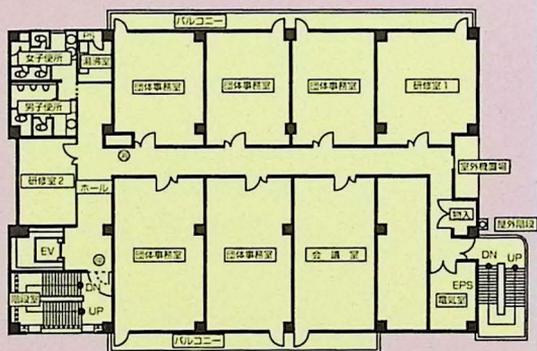


◀ 1F

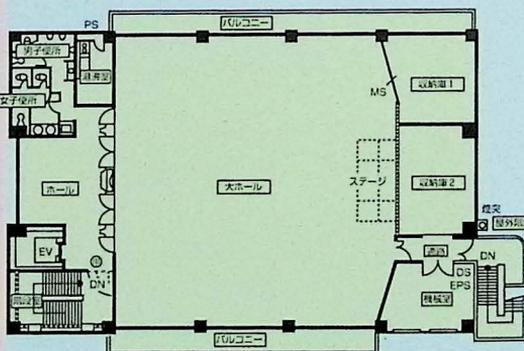
2F ▶



◀ 3F



4F ▶





事務局

(平成8年8月1日現在)

総務係 西岡 信行	補助員 藤田 直	嘱託 北村多喜男	総務係 柴田 和志	経営指導員 北岡 学	総務係 山田 勝
--------------	-------------	-------------	--------------	---------------	-------------

総務係 池之内早百合	補助員 伊藤 正之	振興係 山田 圭子	記帳専任職員 尾崎 慶子
---------------	--------------	--------------	-----------------

総務係長 奥野佳世子	中小企業相談所長 武田 康男	専務理事 瀧口 勇	事務局長 岡地 宏	中小企業相談所長補佐 左近 均
---------------	-------------------	--------------	--------------	--------------------

あ と が き

八日市商工会議所創立四十周年の記念事業の一環として、私共「記念誌発刊委員会」では会員企業の事業拡大に役立つ「名鑑」づくりを企画いたしました。しかしながら、時間的な制約もあり、その資料や記録等の収集におきまして、不如意の点がありますが、何卒御寛容賜りますようお願い申し上げます。

最近の景気動向から、協賛広告についても些か不安がありました。関係各位の絶大なる御尽力と御理解を頂きましたことに深く感謝を申し上げますと共に、これを機会にいよいよ会員各位の御隆昌をお祈り申し上げますとさせていただきます。

平成8年8月吉日

八日市商工会議所創立四十周年記念誌発刊委員会

委員長 深田 正治

八日市商工会議所

創立40周年記念誌

発行日 平成8年8月21日

発行 八日市商工会議所

企画 記念誌発刊委員会

印刷 滋賀高速印刷株式会社

